京城日報 朝刊
發行所 京城府中區太平通一丁目三十一番地 京城日報社

米英の對土政策變更か
軍需品供給停止

【リスボン二日同盟】アンカラ來電によれば同地の軍事消息筋は二日米英兩國がトルコに對する西アジヤからの軍需品供給を停止した旨言明したといはれる、米英兩國政府の今回の措置はトルコに對する政策の變更を意味するものでありトルコの參戰に關する希望を放棄したものだとの觀測が有力に傳へられる

佛傀儡政權代表モスコーへ

【リスボン二日同盟】アルジェー來電＝フランス委員會は元フランス空相ピエル・コットを特使としてモスコーに派遣すると共に決定したコットは近くアルジェーを出發、モスコーに赴く豫定である、同時に傀儡政權はモスコー駐劄大使に前閣員ガストン・パレウスキを任命、近くモスコーへ着任する豫定といはれる

上聞の榮・軍旗護衛の十一勇士
烈々・不屈の闘魂
執拗な敵襲下 重責を完遂

陸軍省發表（昭和十九年三月二日十六時）昭和十八年三月ラエ輸送作戰に際し敵機の攻撃により輸送船沈没に際し遠藤部隊軍旗を小舟艇に奉持し、これが護衛の大任を完うせる陸軍々曹並木三郎以下十名の軍旗衛兵及び旗護兵並にこれが指揮に當れる陸軍中尉小崎春雄に對しさきに軍司令官より感狀を授與せられしが今般畏くも上聞に達せられたり

感狀

遠藤部隊軍旗衛兵及旗護兵
陸軍軍曹 並木三郎 以下十名
小池部隊 陸軍中尉 小崎春雄

右は「ラエ」輸送作戰に於て敵百數十機の攻撃によりわが輸送船沈没せるの秋、小舟艇に遠藤部隊軍旗を奉持し之が護衛の大任を全うせり

即ち三月三日「クレチン」岬沖に於て乘船○○丸敵機爆撃のため火災を生じ、終に沈没を免れざるに至るや、部隊長遠藤大佐は全員退船を命じ旗手近藤中尉をして軍旗を奉持せしめ救命艇に移乘待避したるも、爾後四回に亘り敵の猛銃爆撃のため先づ部隊長、次いで近藤中尉壯烈なる戰死を遂げ、又他方舟艇及び小舟艇は悉く敵銃爆撃を被りて殆ど沈没し悲壯なる狀況を呈するに至りしが、並木軍曹以下軍旗衛兵、旗護兵及びその他同部隊の人員は軍旗奉持の精神愈々固く鞏つてこれを完遂せんことを期せり

小池部隊陸軍中尉小崎春雄は遭難漂流中右救命艇に收容せられありしが、軍旗護衛の重責に感激し救命艇以後の行動を律し無氣力なる漂流を排し決然果敢なる救命艇を以て悲壯なる機動を開始せり、爾後數日に亘る敵機の攻撃に堪へ食糧盡きて三月十一日より絶食狀態に陥るも全員一致協力、四月一日、即ち三十一日にして遂にニューブリテン島マーカス岬西方約十粁に上陸し軍旗奉持の大任を全うせり

並木軍曹以下軍旗衛兵及び旗護兵の熱烈不撓の軍人精神と、小崎中尉の適切なる決心及び指導に因り能く千辛萬苦を克服、至高なる軍人精神を發揮せるものにして眞に軍人の龜鑑たり

仍て茲に感狀を授與す

昭和十八年四月二十九日
軍司令官

殊勲の十一勇士

不撓不屈、死を賭して軍旗護衛の大任を完うし今回畏くも上聞の榮に浴した小池部隊小崎中尉及び遠藤部隊並木軍曹以下十勇士氏名は左の通り

小池部隊陸軍中尉 小崎春雄（愛知縣）
遠藤部隊陸軍々曹 並木三郎（群馬縣）
同 伍長 松田憲二（同）
同 兵長 中信夫（同）
同 小倉德二（同）
同 近藤良一（同）
同 上等兵 安達豐次（同）
同 峰岸八郎（同）
同 神宮榮義（同）
同 田村正太郎（同）
同 一等兵 高野申八（同）

戰闘經過
小艇に苦闘一ヶ月
無念、戰友は次々殪る

軍旗を奉持してラバウルを出發、ニューギニヤへ向つた遠藤部隊長らの船團が、敵機百數十機の猛襲を受けたのは三月三日の朝八時、場所はニューギニヤ島クレチン岬の沖合であつた、無念や遠藤部隊長の乘船○○丸も遂に敵彈に沈んだが、以後四月一日ニューブリテン島マーカス岬沖約五浬のガブツマレ島にたどり着くまで小艇で大洋を漂流すること實に卅一日その間も敵機の執拗な攻撃を受け、部隊長をはじめ十一名の戰友を亡ひつゝもなほ飢餓に耐へ熱暑を克服、生死を超越した不屈の闘魂でよく軍旗を護りぬき大任を全うした並木軍曹以下十名の軍旗衛兵及び旗護兵、並に亡き部隊長に代つてこれが指揮に當つた小崎中尉の殊勲は今回畏くも上聞の榮に浴したが、以下右十一勇士が大洋上一ケ月の戰闘經過をたどつてみよう

三月三日 朝八時、敵百數十機の空襲を受け、遠藤部隊長の乘船○○丸にも四十餘機のB17、B24が襲ひかゝつて銃爆撃を加へ來り、その數彈は遂に第三、第四船艙附近に命中して大爆發を起し船は忽ち一面の火の海と化した、八時半、最早や沈没免れ難しと判斷した部隊長は潔く退去の命令を發し、自らは軍旗を奉持した近藤中尉以下並木軍曹など四名の軍旗衛兵、旗護兵六名その他機關銃手等八名、船員七名を從へ救命艇に移乘し、折から又も飛來した敵機約五十機の猛烈な機銃掃射の雨を冒しつゝ燃えさかる本船を離れた

午前十一時ごろ艇は附近を漂流中の小池部隊小崎春雄中尉を救助したが、同中尉は旗手近藤中尉と同期生であつた

敵機は引續いて五機、十機と飛來し、水上機は浮舟を海面に着けて大波に漂ふ小舟艇や乘員に猛烈な掃射を浴びせて行く、午後三時半敵七機は部隊長の艇に對し反復攻撃を加へ來り、部隊長以下は海に飛び込んで艇中には近藤中尉一人僅かになり身を以て軍旗を守つた、敵の彈雨は益々激しく遂に部隊長は頭部から胸を抜ける貫通銃創を受けて壯烈な戰死を遂げ同時に部下七名も運命を共にした間もなく敵水上機の一彈は近藤中尉の大腿部を貫いたが、中尉はこれに屈せず軍旗を胸に守護してゐたが、並木軍曹等の手當も及ばず多量の出血で次第に意識を失ひ「軍旗、軍旗」と最後まで連呼してゐたが遂に約卅分の後息を引取つた

たゞ一念、軍旗守護
大洋に粟一粒の救命艇

かくて艇は大洋の眞ッ只中に一粒の粟のやうに放り出されたが、並木軍曹以下約二十名の全員は幸ひ軍旗守護の一念に燃えて凡ゆる艱苦艱難を堪ひあつたのである、近藤中尉が艇の指揮に任じた、午後五時またも敵機を受けたが損害はなかつた、夜に入ると共に洋上は暴風雨と化し、艇は木の葉のやうに激浪に揉まれて東へ東へと押流された、友軍の救援は遂に來らず、一同は最悪の場合に備へて軍旗の沈下を覺悟した、漂流三十一日の第一夜はかうして荒波の中に明けた

四日（第二日目）天明と共に全員は敵機圏外に出るため力漕に努めたが午前と午後の二回に亘つて敵機の執拗な攻撃を受けた、その間午後一時ごろ友軍機十五機が飛來し頭上を旋回してラエの方へ飛去した、一同は希望を取戻した、小崎中尉はこゝに於て友軍の救助を待つたが夕刻に到るもわが船の姿は見えない、小崎中尉は徒らに救援を待つよりニューブリテン島へ上陸しようと決心した、幸ひ同中尉は附近の地理、潮流に明るかつた、潮流はダンピール海峽からニューギニヤの沖を南東に流れてゐる、艇は針路を北々西に取つて多難な航海についた

一行の食糧は當初米一人の九日分、乾麵麭二十袋、罐詰十五、六本、鰹節、飴、ミルクが少し、水は各自の水筒一個平均の他、ビール樽一斗樽各一個分だつた

軍旗に供ふ粥の飯

六日（四日目）もう食糧は殘り少くなつたので海水で粥を炊き一人湯呑に半分位づつの配給にした、最初の配給は謹んで軍旗に供へた、水は艇の底に溜つてゐる雨水を目をつむつて飲んだ、しかしこの配給も六日目の八日には盡き後は殘り少い生米を噛んだ、體力も弱り暑熱に堪へかねて一同はかはるがはる海に浸つては辛うじて暑さを凌いだ、この日○○部隊の林機少尉等十名が筏で漂流してゐるのを收容、新手を加へて元氣百倍し病人は筏に乘せて曳航した

九日（七日目）これまで艇の内側に安置してあつた軍旗の濡損を恐れて帆柱に奉安して天幕で覆つた、朝十時、病兵中の長谷川兵長が漂流最初の犠牲者として戰死した

十日 十一日と續いて敵機が飛來し殊に十一日水上偵察機が低空で艇上を數回旋回したが、死體を裝つた故か、或は遭難兵を原住民と見間違へたか、攻撃は加へずに去り全員無事なるを得た、しかし食糧、水は遂に全く盡きた、さすがの上州健兒も連日の苦闘でオールを操る力も失せたが船員倉田謙介二等運轉士の指揮で帆を操ることが出來北々西へ帆走した、漂流中は主として夜間に帆走に頼り涼しい夜間のために體力を蓄へた

十四日（十二日目）午前一時ごろスコールがあり、若干の水を得た、この日船員の猪井宇一つ いで十六日（十四日目）には長友兵長が斃れた、十七日病人を艇に移し厄介になる筏を捨てた

漂流既に十五日未だ島の影もなく行けども行けども渺々たる大洋の眺めばかりである、毎日同じ樣な大洋がぎらつく日の照りつけて來た、久毛船員戰死す

十九日（十七日目）艇は密林部隊、夜は他隊の人員と漕ぐ番を定める、帆走だけでは夜の闇に遂に流されるのだ、夜は激しいスコールあり、濡れた軍旗を抱いて天明を待つた、二十日艇内に鼠を見付けて食ふ

廿一日（十九日目）防蚊帽の針金を釣針に代へて釣つた、一尺ばかりの鱶とマヒキ四尾をあげて肉を分ち餌をかんで飢を免れた、配給されたがなかなか食べず大事にしやぶつてゐるものもあつた

廿二日（二十日目）伊與久伍長戰死、翌日誰も水の要を見る、これまで一、二度遙かに島らしい影を見たがもう激浪せる元氣もなかつた、或は幻だつたかも知れない

廿四日（廿二日目）島影一尺位の鱶を鈎へ、足まで縛つてみたが、これだけはどうしても食へなかつた、二十六日旗衛兵の長小坂兵長が戰死した、漂流以來八人目、そして最後の犧牲者であつた

廿七日（廿五日目）生きてゐるのが不思議である、漂流すでに一ケ月、誰の顔も、肉體も死の影に包まれてゐる、しかし漂ひの中には猶も敢然たる尊い軍旗があつた、この軍旗、それは知れぬ感激と不惜の責任感が湧き上つた、この日漸らしく鷗が釣れ辛うじて戰死を免れた

卅一日（廿九日目）北々西の水平線上にかすかに島影が見えた

四月一日（卅日目）には島影はますます鮮明になつた、何かくて御稜威畏き軍旗の御加護の下、漂流以來實に卅一日目、一同の死を超えた不屈の闘魂は神明の救ひ給ふところとなり、光榮の軍旗は小倉兵長に奉持されて無事同島に上陸したのである

一日 夜中スコールがあり死力を盡してオールを動かした

二日 數日來の乾きを癒した、一同は元氣倍加して最後の努力を傾けて漕いだ、力がないので一本のオールに二人づつしがみついて漕いだ、天明の頃島は北東約六浬に近づいてゐた、一面の椰子の繁りも見えた、敵艦も何も忘れて夢中で漕ぐ、二時頃艇は島についた、誰一人自分で島へはひ上れる者はなく艇にへばり込んだまゝ感激の淚に滂沱と頬を濡らした

この島はニューブリテン島マーカス岬西沖約五浬のガブツマテレ島であつた

その夜は並木軍曹と小倉兵長の間に軍旗を安置して露營し、原住民の厚意で存分に飢を滿たした

三日 原住民の案内により同島を出發、時マーカス岬にあつた松長部隊に救助を依頼、四日同部隊に迎へられて原住民に感謝しつゝガブツマテレ島を出發、夜十一時マーカス岬松長部隊に到着、軍旗及び部隊長遠藤大佐以下十一柱の英靈と將兵の二十名は收容され中尉以下殘餘の軍旗は並木軍曹奉持、小崎中尉指揮により部隊長室に奉安されたのであつた、この軍旗が○○部隊長以下の待ち侘びる懐しの原隊に歸着したのはそれから數日後のことである

重光外相參內

【東京電話】重光外相は二日午後參內、所管事項につき奏上、御前を退下した

砲爆下に傷兵輸送
海軍部外者論功行賞

【東京電話】既報の通り今回支那大陸各方面において海軍作戰に協力した海軍關係部外者五百九十八名に對し論功行賞の御沙汰あらせられ、三日海軍省より夫々傳達、更に海軍關係第二十六回支那事變生存者行賞として發表した

今回優渥なる御沙汰を拜した部外者は何れも支那大陸の各地において直接海軍の作戰部隊に、或は建設に協力したもので、特に小宮山原太郎氏以下十名は上海・長崎間の海運作業に從事してゐたが、事變勃發するや敵砲爆彈の炸裂下に數十回に亘り敢然として在留邦人避難民、戰傷病兵の輸送に、或は軍需品等の急速輸送に從事し、その任務を遺憾なく達成したものである、更に鎌田泰次氏以下廿一名は中支方面において活躍し、また田澤武男氏以下四氏は北支方面に、杉山周三氏以下十二名は南支方面においてそれぞれ活躍し海軍作戰に直接協力したものである

社說 配給末端機構の公共性

「配給だけの生活態度」といふことが最近切實な要求として採りあげられてゐる。戰時の生活態度として誠にそれは理想である。現在行はれつゝある各種の配給制度及び方法は、戰に物資自體の公平なる分配を當面の目的として生れたもので、少くともその當初において國民生活の綜合計畫といふ國家政策的な見地にたつての配給は重大な機關ではなかつた。けれども、今日の經濟狀勢下に於いては國民生活の綜合計畫と國策といふ國家政策的な見地にたつての配給制度はかゝる意ひをもつものでなければならぬとはいふまでもあるまい。從つて、現行の配給制度はかゝる線に沿つて急速に改善され、若くは強化されねばならない。かゝる見地にたつて先づなされねばならぬことは、現在の配給制度及方法、從つてその機構の向上に實際的に潜在してゐるかの究明といふことである。

しかし一口に配給制度といつても、米の如く強制的に効果をあげてゐるものもあるし、隣組配給の如くその配給方法に於いて大勢無難の方法もあつて、一概に議論の對象とはなり得ないのであるが、われらのこゝに問題にせんとするものは、一應配給の形式下にはあるが、なほそこにその配給に參るものゝ自由意志によつて如何やうにも實際の配給を左右し得る餘地の殘されてゐるものである。果實、野菜類、魚類、其他の生活必需品の配給問題としてこの種の配給制度が現在最も多く行はれてゐるのであるが、問題の隘路なるものは實にこの末端機構、即ち商人の配給權限が余りに大きく、極めて公共性に乏しいといふことである。世の非難もまた一致してこの點にあるといふことは、現行のこの種配給制度がこの點の根本的是正を中心として改善されねばならないことを雄辯に證するものであらう。

一體『商ひ』といふ觀念は現在では物の配給を意味するものでなくてはならず、斷じて儲けを目的とする商行爲でないことはいふまでもあるまい。このことは商人自體も所謂新商業倫理の提唱によつて今日よく理解してゐるはずのものである。しかし實際はこの極めて理解し易い新商道が實踐されてゐないといふことは、消費者の大半が毎日數多く經驗してゐるところである。そこに問題がある。われらは今日、商人の『賣つてやる式』の態度がどうだとか、サービスが惡いとかいつた議論をしようと思はない。問題は物資がその商人によつて果して公正に配給され、所謂横流れや闇に消えることがないといへるかどうかといふことである。われらは遺憾ながら公正なる配給を信ずることが出來ないのである。同時に、制度や方法にも缺陷があるからである。われらは商人自體を否定するものではなく、配給機構としての存在や資格を否定するものではないが、配給の實情に商人の懲の面を一掃するためには商の面をも變徹底にしなければならないかと思ふ。從つて、商人の自由意思の餘地を排するため、配給制度や方法を根本的に改善し強化することも當然に考へられねばならない。

制度は人が動かすべきものではあるが、逆に制度が人を動かす必要のある場合もある。非常時における戰時經濟の運營はこれまでの經濟常識を以つて律すべきでないといふ觀點はこの場合にもまたあてはまるのである。然らば如何なる形に配給制度を切替へるべきであるか。勿論物資によつて一律であつてはならぬし、地域によつても一律であつてはならない。物資の種類、規格、これに對する人の嗜好、更に地域的な經濟關係を考慮した所謂實情に即せる制度でなければならぬと勿論であるが、如何なる場合においても忘れてならぬことは、その物資配給に當るものゝ自由裁量の餘地を、完全に封ずるものでなくてはならないといふことである。換言すれば、末端配給機構への公共性附與といふことである。

このためには小賣商の思ひ切つた整備、小賣商の適正なる地域的配置といふことも前提となるし、公共的綜合配給所、共同配給所といつた機關の適正なる配置といふことも考慮されねばならず、その他、なほ多々あるのであるが、しかしかゝる徹底せる狀態にまで統制化せねば、恐らく完全なる配給の確保といふことは望み得ないであらう。配給制度が少くとも國民の生活保證といふことを理想とするならば、敢て諸種の困難を克服して、この線に沿ふ措置を講ずることに、官も民も一層の努力を致すべきであらう。

日曜二班交代出勤
本府、執務方法を決定

決戰非常措置の實施に伴ふ官廳執務の總督府における執務方法は二日左のごとく決定、五日の日曜から實施することとなつた

一、課長以下課員を甲班、乙班（各班はゞ同數とす）に分つ
二、甲班は第一、第三日曜を執務日とす
三、乙班は第二、第四日曜を執務日とす
四、第五日曜は各局課において適宜執務者を指定するものとす

海軍報道部々長に 栗原大佐
矢野少將は軍令部出仕

海軍省公表（昭和十九年三月二日十六時）本日左の通り補職發令せらる

海軍少將 矢野英雄
補軍令部出仕
海軍大佐 栗原悦藏
大本營海軍報道部々長被仰付

【東京電話】大本營海軍報道部々長矢野英雄少將は今回軍令部出仕に補され、その後任に現報道課長栗原悦藏大佐が決定、二日午後四時海軍省より別項の如く公表した、今回栗原大佐が報道部々長に補任されたことは伊藤少將以來のことで、前田少將から矢野少將に至るまでは軍令部々長と報道部長は同一人であつた、矢野少將は十七年十二月小川少將の後を受けて報道部々長に就任、爾來一年三ケ月、報道宣傳の指導に絶大なる功績を殘して來た、栗原大佐は同十八年七月平出英夫大佐の後を襲つて報道部課長に就任、溫厚篤實な人格を以て眞に決戰輿論の樹立に寄與するところ極大であつた

（右）矢野少將（左）栗原大佐＝寫眞＝

獨空軍、倫敦を連爆

【ストツクホルム二日同盟】ロンドン來電＝英空軍省は二日獨空軍が同日早曉ロンドンを爆撃した旨發表したといはれる

【ベルリン二日同盟】獨軍當局は二日獨空軍のロンドン爆撃に關し次の如く言明した

多數の獨重爆撃機編隊は三月二日早曉ロンドンに對して猛烈なる新攻撃を加へた、第一回の爆撃は午前三時に行はれたが、攻撃は狹隘な地區に集中して甚大な損害を與へた、間斷なく續行される攻撃は熾烈なものであつた、第一次攻撃部隊はすでに歸還してゐるが搭乘員の報告によれば火災が擴大して行くのが見られたといはれる

新型燒夷彈猛威を發揮
倫敦市民大恐慌

【ストツクホルム二日同盟】廿五日以來爆撃を休止してゐたドイツ空軍は廿九日夜、再び大規模ロンドン爆撃、甚大な損害を與へたが廿二、廿三兩日の爆撃を目擊した旅行者の談話によれば、詳細は次の通りである

一番ひどくやられたのはテームズ河畔のグリニチ地區で海軍大學などは崩壞してゐる、グリニチ天文臺も燒夷彈のため損害を蒙り有名な公園もやられ、まるで廢墟後の慘狀を呈してゐた、又海軍兵器廠やドツクも一面の火の海と化してゐた、さらに英國銀行も廢墟と化し、郵政本局も灰燼に歸してしまつた、ロンドン市民全體の印象はロンドン爆撃が愈々火蓋を切られ、遂つて激烈化するドイツ空軍の攻撃を耐へてゆかねばならぬといふ一種のあきらめが見受けられた、またドイツ軍當局が去る廿三日言明した新型燒夷彈には英國當局も手の施しやうがなかつた模樣で、ロンドン來電によれば、この新型燒夷彈は落下の際、多量の濃厚な可燃性液體を八方に噴出し、水をかけるとますます燃え上り、防火砂をもつてしても何等の効果を發揮しなかつたと傳へられる、またロンドン市以外に最も損害を蒙つたのはブライトン、ニューヘーブン、フオークストン、マンチエスター、カンタベリーの諸都市と傳へられ、とくに最近ドイツ空軍の大規模爆撃が杜絶えてゐたので、英國民はすつかり氣を許してゐたため大混亂を捲き起してゐる模樣である

緬甸に工作團派遣
國府、重慶へ宣傳攻勢

【南京二日同盟】國民政府は自由印度假政府の獨立戰爭遂行を支持する決意を具體化すると共にこれを阻害する重慶の策謀を擊碎すべく積極的な宣傳攻勢を展開することとなり今回遠くビルマの第一線に宣傳工作隊を派遣、日本軍ならびにビルマ國、自由印度假政府などの各機關と緊密な連絡下に強力な重慶宣傳工作を行ひつゝある、これに關して國民政府宣傳部は二日左の如く發表した

國民政府は昨年一月九日大東亞戰爭に參戰以來同生共死の決意をもつて盟邦日本に協力し大東亞戰爭の完遂に努力しつゝあるが、今回前線宣傳工作に極力協力するため重慶宣傳工作に優秀なる人員をもつて宣傳班を組織しビルマ方面に派遣、盟邦日本軍隊およびビルマ政府、自由印度假政府と緊密に協力して各種施策を積極的に推進せしむることとなり、右宣傳團は一月上旬すでにビルマに到着し活潑なる活動を開始しつゝあり

作戰防衛に協力

【ビルマ○○基地二日同盟】國民政府がビルマ方面に派遣した宣傳工作團は二日左の如き談話を發表した

中華民國國民政府は大東亞戰爭の戰爭目的共同完遂のため今回盟邦せる特派軍事宣傳團を編成しビルマ方面に派遣し日本軍ならびにビルマ國政府と自由印度假政府と緊密に協力し積極的に諸施策を推進強化することとなり、すでに一月上旬現地に到着しその活動を開始してゐる、さきには緬印各軍とわがビルマ方面日本軍との共同防衛上緊密なる協力が講ぜられ強靭の布陣を強化したが、今また中華民國々民政府特派軍事宣傳團の派遣に伴ひ日華緬印相提携して作戰防衛に伴ふ諸般の施策を遂行し得ることになつた、大東亞戰爭遂行上ビルマ方面の有する戰略上重要性より鑑み期待の成果を擧げ得るものと確信する、所謂援蔣ルート方面より突破國民政府によつて逸早く援蔣通路ルートが確立せられ『重慶必滅への途』『東京への途』へと邁進せられたると共に重慶のみならず英米反樞軸も粉碎してゐるものと認められ、抗戰陣營の中國人士も東亞保衞英米打倒のため一日も速かに反省して大東亞本然の姿に還り大同團結、以つて英米の縛迫から東亞の桎梏を掃拭すべき秋であらう

呼號百七十萬
印度軍兵力

【リスボン二日同盟】ニューデリー來電＝印度國防長官ゲイロスカン・ヌーンは一日印度軍の現勢兵力につき次の通り發表した

印度國軍の兵力は現在およそ百七十萬で印度海軍の兵力はおよそ二萬、空軍の兵力は非常に增員を加へておよそ三萬である

最後の決戰迫る
獨宣傳相、必勝を強調

【ベルリン一日同盟】廿八、廿九の兩日ベルリンにおいてドイツ宣傳省全國宣傳部長會議が開催されたが、席上ゲツベルス宣傳相は次の通り述べた

今次戰爭は地域の所得のみ問題とされた前大戰とは全く性格を異にする、今次大戰は建設の戰爭であり國民は喰ふか喰はれるかの苛烈な戰闘に從事してゐる、反樞軸軍は恐らく西歐州へ侵攻を企圖するであらうがそれは最後の決戰が迫つたことを意味するものだ、ドイツ指導部は最後の切札を示さずに、各戰線における困難な局面を克服してゐるのだから、以上の決戰に際しても有利な地歩を占めることは疑問の餘地がない、ドイツ軍の勝利はたゞにドイツの希望するところであるばかりでなく、歷史的な事實である、ドイツは己の實力を恃んで確信をもつて勝利を期待する

ソ芬問題默殺
獨當局の態度

【ベルリン一日同盟】過般來反樞軸陣營の關心の焦點となつてゐたソ芬兩國の和平問題は廿九日モスコーラジオがソ芬和平交渉開始の前提條件として六ケ條からなる對フィンランド提案の内容を發表するに及んで各種の憶測、流說を交へ最高頂に達した觀を呈してゐるが、ドイツ外務省情報部次長スツム氏は一日の新聞記者團會見でソ芬和平說を完全に無視、同問題については何等の言明をも行はなかつた

ドイツ各紙も同樣ソ芬問題を默殺してモスコーラジオの發表もこれを掲載してゐる新聞は一紙もない、しかしドイツ當局が最近のソ芬兩國關係の動きを相當重大視してゐることは事實で、國內的には餘り騒ぎ立てないが對外放送その他ではソ芬兩國關係を繞る動きおよび廿九日のソビエト當局の發表等を詳細に報道してゐる

芬情報局發表

【ベルリン一日同盟】ヘルシンキ來電＝フィンランド情報局は一日夜ソ、芬和平問題につき次の如く發表した

フィンランドおよびソビエト兩國政府間に正式和平交渉が行はれた事實はない、但しフィンランド元首相パーシキビは最近ストツクホルムでソビエト公使コロンタイ女史と會談したが會談內容はフィンランド議會に附議された

獨大使、外相訪問

【ストツクホルム一日同盟】スターマードイツ大使は二日午前十一時外相官邸に重光外相を訪問、約四十分間にわたつて歐州戰局に關し意見の交換をとげた

米輸送船印度洋で擊沈

【リスボン二日同盟】ワシントン來電＝米國海軍省は一月中旬米國輸送船が印度洋において日本潛水艦の攻撃を受け沈没した旨發表した

ド・ゴール派
原住民と衝突

【リスボン二日同盟】フェズ（佛領モロツコ）來電によればモロツコ地方の原住民とド・ゴール派フランス人との間に衝突事件が起り死者十八名負傷者五十名を出したといはれる、ド・ゴール派はフェズに續々軍隊を派遣し、衝突に躍起となつてゐるが既にフェズを初めメクネス、カサブランカ、ラバトなどの各地で原住民六千名以上が逮捕されたと傳へられる

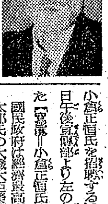
興亞國民運動懇談會

【東京電話】興亞總本部では來朝中の滿洲國興亞代表一行を二日帝國ホテルに招待、午前十一時半から川島總務局長、藤田實彦局長、岡野興亞局長ほか翼壯、商報、農報、大日本青少年團、日滿華國民運動團體代表者十七名參集の下に日滿兩國民運動提携懇談會を開催した、まづ川島總務局長から日本國内における興亞運動の概要を報告したのち、滿洲國協和會代表から滿洲國民運動の現狀につき說明あつて、懇談會に入つた

消息

◇長島殿一郎氏（昭和鐵工取締役）新任挨拶のため二日來社
◇堀内謙嗣氏（朝鮮ホテル支配人）新任挨拶のため同上

小倉正恒氏に決定
國府經濟最高顧問後任



【南京二日同盟】國民政府では石渡莊太郎氏の經濟最高顧問の藏相就任に伴ふ後任につき日本政府と折衝の結果小倉正恒氏を招聘するに決し、二日午後宣傳部より左の如く發表した

【宣傳部發表＝小倉正恒氏】國民政府は經濟最高顧問石渡莊太郎氏の大藏大臣榮轉後、關係方面において慎重人選の結果、後任として小倉正恒氏を招聘するに決定せり

戰力增强を推進
小倉氏、抱負を語る

【東京電話】國府經濟最高顧問に決定した小倉正恒氏は二日記者團と會見、左の如き談話を行ひ中國の經濟、民情に則して新政策を推進し中國經濟人の總意と責任を結集するとによつて戰力增强物資の對日寄與促進を圖る旨を強調した、國府の政治力滲透による戰場市場と新經濟施策の斷行が要望されてゐる折柄、小倉氏の就任は各方面から注目されてゐる

◇…今般國民政府から石渡氏の後任として南京へ赴任するやうにとの交渉があつたので引受けることにした、非常に難しい役目であるが誠心誠意出來るだけのことをやるつもりである、今日の中國として大東亞戰爭に寄與し得る最大の途は日本が戰爭遂行上必要とする物資の供給に任ずることであらうが、昨年南方へ行つて中國の實情が着々と戰力化されてゐる狀況を見聞して大變心強く感じ、現地官民の並ならぬ努力に感謝の念を禁じ得なかつた

◇…生必物資、食糧の增產乃至は集荷の增加は今日中國經濟の最重要課題であるが、これは日本の戰力增强にかゝると同時に中國の民生に影響を有し、通貨價値維持の點から見ても大きな問題であるから、石渡氏をはじめ日華兩國各方面の教示を頼つて善處したく、萬事眞意を十分に見極めた上で大局的見地に立つて處理して行きたい

◇…中國の經濟はなかなか複雜であり單純に日本經濟の常識をもつてしては律し難い所が多い、考へ方なり、行動なりにも特異なものがあるが、これを忘れて早急に深隙に日本式のやり方を強ひるやうな無理はしたくない、新政策を推進し中國の政府當局者に民間經濟人が十分の熱意を發揮し、強い責任感をもつて事に當るやう努力せねばならぬ、新政策實施の過渡期には行き違ひを生じやすいと思ふが、所謂小我を捨て大道につくことが肝要であつて、兩國經濟人の心からの融和にも及ぶ限りの努力をしたい

送れ前線へ！ 一機でも多く飛行機を
送れ職場へ！ 一台でも多く製作機械を
日立製作所

一億突撃
米英必殺だ
オブラーク

東南アジヤ花圜 舟越康壽著 價三・〇七
大東亞共榮圈と不可缺の運命を有する東南アジヤの現實的、歷史的性格を闡明せる快著である。
現代濠洲論 伊東敬著 價二・五〇
現在關心の中心たる濠洲の軍事、經濟、社會、文化風俗を正確なる資料により闡說せる近來の好著。
ポリネシヤに於ける法と秩序 ホゲビン原著 吉田一次譯 價三・三〇
南方原住民の秩序維持の法を論じた書。學術的並びに一般人にも南方知識を正確に教へる良書。
一發賣中・即刻書店へ御注文下さい一 三省堂刊 （配給統制上本社直接御注文は斷り）

近刊豫告
アミノ酸及蛋白質 大阪帝國大學教授 赤堀四郎著 B5判六〇八頁 豫價二一・三一
技術者のための研究論文の作り方 東京工大教授 西川榮一著 B6二〇〇頁 豫價二・〇七
最近刊豫告
新無線通信工學 明治專門學校教授 室住熊三著 A5四五〇頁 豫價九・三五
實驗電氣化學（上卷） 東京工大教授 武井武著 B5二八四頁 豫價四・六一
重版豫告
アルミニウム及其合金 京都帝大教授 西村秀雄著 A5二九八頁 豫價四・五六
★弘報廿二號掲載に付き最寄書店に申込を乞ふ
共立出版株式會社 東京都神田區駿河臺三丁目九

誰も知る有名な日本文學代表作
永遠に輝く文豪傑作選集
殘本處分特賣斷行 三冊組一圓七十錢 送料三十錢
德冨蘆花傑作集 不如歸…自然と人生…みゝずのたはごと…其他
夏目漱石傑作集 我輩は猫である…坊ちやん…虞美人草…門
國木田獨歩傑作集 武藏野…酒中日記…欺かざるの記…
※申込は三冊組送料共三圓を前金で振替又は小爲替で送金の事、分品につき一冊づゝの分賣は謝絶
新らしい手紙辭典（附）男女慰問手紙文集（二冊組） 價一・五〇 送十錢
どんな手紙下手でも本書二冊組で凡ゆる手紙が面白いやうに書ける
東京都中野區小瀧町四九 積文堂出版部

田中要人編著 會社工場業務規定集
會計實務篇 四・〇〇 〒・一八
社員進退服務實務篇 二・五〇 〒・一八
工員賃銀待遇實務篇 三・〇〇 〒・一八
空襲下の業務處理對策 一・二〇 〒・一五
加島淳著 新刊 新購買實務論 A5判三〇四頁 價三・二〇 〒二〇
戰後經濟下に於ける購買の特殊性を剖し購買計畫化の根本原理としての設計問題、所要材料の計算問題とこれに關聯する調査購買の本質的變化に伴ふ問題を解說す
東京都本郷區本郷三ノ四 振替東京一九一七三番 教材社

獨逸大學の精神 原著フリッツ・シュトリヒ 譯註 石川錬次 價五・七五 〒二五
十七世紀の末より今世紀の初めまでの間に、獨逸アカデミー及び大學の祝典に際して行はれた歷代の大碩學の講演を收めたもの
內閣制度の研究 山崎丹照著 價三・五〇 〒二五
外地統治機構の研究 山崎丹照著 （內外地行政一元化の基礎文獻） 價四・六〇
大東亞交通論 （陸海空交通の過去と未來） 價五・二五 〒二五
技術發達史 加茂儀一著 （原始時代より現代の技術發達過程） 價五・三三 〒二五
高山書院 東京都神田區小川町三九

敵機動部隊サイパン島來襲 詳報

孤島を搖がす盲爆

卑劣、牛馬をも銃擊

【中部太平洋○○基地中島、木村海軍報道班員二日發】トラック諸島を空襲した敵の有力な機動部隊はわが海軍の果敢な邀撃に一旦避退されその後消息を晦ましたが、廿三日に至つて突如內南洋の要衝サイパン島周邊に大編隊をもつて大爆擊、わが方に攻擊を加へて來た、絶海の孤島を死守するわが海軍航空部隊及び陸海軍地上部隊は敵機來襲と共に死力をつくしてこれに邀擊、遂に擊退に成功したが、わが索敵機によると敵機動部隊は空母少くとも十隻以上を基幹として戰艦、巡洋艦その他を配した空前の有力な機動部隊であり、敵アメリカは一擧にわが周邊と決戰を挑んで今もなほわが周邊に不遜極まる蠢動を續けてゐる、今や中部太平洋の戰況は眞に皇國の興廢をかけた一大航空決戰に突入したのである、絶海の珊瑚礁○○島に派遣を命ぜられたわれ〳〵はこの最初の物凄い敵機の空襲を體驗した、飛行場のつい傍らにゐたわれ〳〵は最も猛烈なる敵機銃に曝され無慈悲に叩き込む敵機の爆彈で、この小さな島も吹き飛んでしまふのではないかと思はれる物凄さであつた、敵機の跳梁の眞ツ只中で或は空中戰に地上に勇敢敢鬪を續ける海鷲勇士にたゞ〳〵感激と信賴の感を深くするのである、以下凄かつた空中戰の見たまゝを記して見る

敵機動部隊現はる

廿三日未明、最初の空襲警報が無氣味に鳴り響いた『敵機動部隊現はる』の警報があり、更にトラック島來襲以來豫期されたことではあり、來るものが來たといつた感じで、非戰鬪員たるわれ〳〵は防空壕にかけこむ、折から上空を蔽ふ爆音を衝いて飛び立つたわが戰鬪機は或は低く或は高く基地上空に待機してゐる、明けきらぬ黎明の空に美しい線を引いて流れる機の標示燈が印象的だ、こんな惡氣流では來まいと思つて壕の入口から頭を出した瞬間いきなり雲を破つてグラマンF6F戰鬪機五機が突つ込んで來た、地上五十メートル、防空陣地から見た彈が集中された、敵は豆鐵砲を喰つた鳩のやうに慌てゝ反轉し機首を翻らして逃走した、これを追ふわが戰鬪機、上空ではすでに物凄い戰鬪が開始されてゐる、密雲の晴れ上つた空中で彼我戰鬪機が死力を盡し入亂れての戰ひだ、あツ一機が火を噴いた、グラマン戰鬪機だ、めらめらと赤い焔を曳いて流星のやうに雲間に突き込み白雲を赤く染めて落ちて行く、次の瞬間、さツと白い落下傘が開いた、卑怯にも生き延びんとする敵搭乘員だ、また一機、今度は味方戰鬪機だ、急に失速してよろ〳〵となつたかと思ふと錐揉み狀態となつたまゝ海中に突入した、あゝわが尊い自爆機、防空壕にゐた我我はぐんと涙が込み上げて來た

目前に迫る敵機群

敵の空襲のやり方は先づ戰鬪機で飛行場上空を制壓し次で大型機による爆擊だ、戰鬪機の空中戰後一時空襲は中斷されたかに見えたが十分間置いた後今度は急降下爆擊機で入れ代り立ち代り突き込んで來た、戰鬪機の空中戰に見とれてゐた記者たちはちよつと壕を離れた隙間、五機編隊の最初の急降下爆擊に見舞はれた、爆音を消して滑らかな滑走音と共にいきなり突き込んで來た、グラマン爆擊機はばら〳〵と機彈の爆彈を落してさツと燕のやうに飛び上る、ただ——ん——凄りをふるはす無氣味な炸裂音の連續と共にばら〳〵と地面に伏した身體の上に降つて來る、仰いで見ると目の前に眞つ白い機體に米國の赤丸のついた機が迫つてゐた、ぱつぱつと頭上を越えて機銃掃射を浴びせて返した木村、大森兩報道班員は勇敢にもライカをもつて見事にこれを寫した

卑劣、敵機の盲爆

敵はそれから二時間置きに三十分間位づつ數回にわたつて襲つて來た、爆彈や時計仕掛けの爆彈も混つてゐるらしく敵機の去つた後數分間置いて物凄く炸裂する爆彈もある、恐しく〳〵と鳴い防空壕で空氣の激動と耳を聾する爆音の中にぢつとしてゐるのはなかく苦しい、今に見ろ、防空壕にゐた若い兵隊はぐつと齒を喰ひしばつて見えぬ空を睨んでゐた、卑劣なる敵機はこゝでも住宅街に爆彈と機銃の洗禮を浴びせて來た、南洋特有の赤い可憐なカンナの畑で草をはんでゐた牛馬さへ見つけ次第に銃擊で殺してゐた、敵の殘虐ぶりはこの通りである、はじめて悽愴な空襲を體驗した記者はこの戰ひこそ大和民族の血の清淨さを保つため必ず勝たねばならぬ戰爭だと思つた、銃後もいゝか、決戰は今だ、あすとはいはず今日こそ赤裸な日本人本然の姿に立ちかへらう、明日ではもう遲い

市町村長に人材

決戰地方行政の運營

【東京電話】全國內政部長會議最終日の二日には出席者一同東京府青年學校を見學して散會したが今回の會議を通じて決戰地方行政の運營上注目さるべき諸點は

一、地方行政機構の頻繁な變革は却て徒らに混亂を招くのでこの際向う一年間は絶對に機構弄りをしないこと

一、市町村の責任實施に伴ひ市町村長の人選には最も愼重を期すること

一、町內會、部落會、隣組の運用に萬全を期すること

一、地方財政運用に積極性を有せしむること

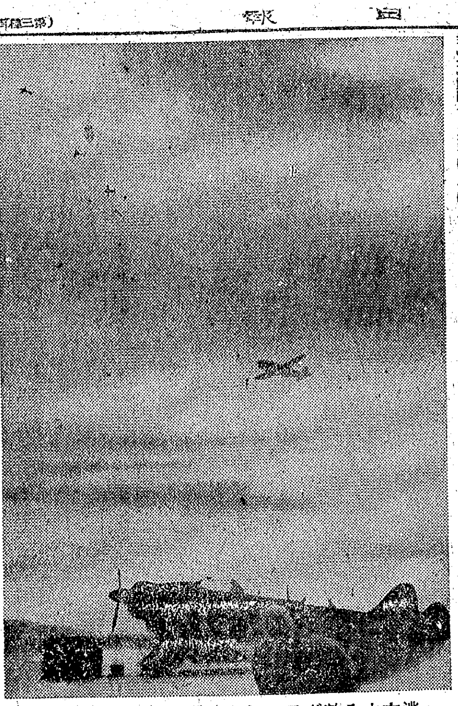
などにあつたが中央、地方の機構に必ずしも一致しない部分があるのでこれが解決については中央の大綱的指示に基いて各地方長が現實の事情に卽しそれ〴〵處理を進めると共に依然懸案として今後の解決に待つべきものがあると見られる、すなはち

一、道府縣經濟部の事務增大に伴ひ一部商工關係の局部設置の懸案が內務省において檢討されてゐるが現在の經濟部はその大部分の事務が食糧增産、國民生活の確保など農商關係事務で占められ軍需生産の增强は軍需監理部或は鑛山監督局を通して直接生産現場に及ぶ關係から必ずしも急速に經濟部の二部制實施を必要とせず寧ろ地方特別官廳の府縣廳統合により綜合行政の實面を發揚すべきであるとの根本問題が取上げられねばならない、然しこれは將來の問題として決戰下當面の措置としては機構は現行のまゝとして專ら府縣廳の協力的態度をもつて機構よりも人の運用に力點を置くべきであるとの意見が强い

一、行政の末端浸透を期するため市町村長の責務はいよ〳〵重大であり地方制度改革の眼目もこの點にあつたので市町村長の人選には愼重を期し人材の就任を得べく、目下市町村長の改選期が全國的に推進されてゐる折柄、內務省としては特に自治團體の愼重を要望してゐる、更に供出、貯蓄など重要國策の行政末端における成績如何は市町村長の人格手腕に俟つところ頗る多くこれは地方側も全く同意見であるので具體的權限が期待される

一、町內會、部落會、隣組組織の運用に當つては飽くまで本來の使命に悖ることなく單にこれが組織を運用すれば便利であるとの便利主義に墮せず萬全を期せねばならぬ、最近隣組を通じ新聞配達などに利用してゐるが如きは全くの邪道である、今後は專ら國策的協力指導に力を注ぐことにある

一、地方財政の膨脹は國策的施策に對する地方行政の積極的協力强化に基くものであるからこれが財源確保については政府において十分に考慮してゐる、從つて地方財政の中央依存傾向を戒めること勿論であるが、同時に增强部面に對する財政運營はこの際積極的活用を要請されてゐる、すなはち決戰下の地方財政は明確なる國策の線に副ふ自治的色彩を帶びるのもやむを得ないわけである



逃亡する敵グラマンを追擊上昇する我戰鬪機
——(海軍省許可濟第十六號・木村海軍報道班員撮影・電送)——

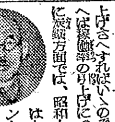
勤勞管理はかくせよ【二】

鼎談
朝鮮石油取締役 佐藤德重氏
朝鮮工業人事部 朝鮮出張所長 別役雄久馬氏
本社 山下論說委員

山下 本年は一切を擧げて勞務管理に傾倒しなければならんが、これは結局生産の增强の爲であり生産の增强は人の努力如何に懸かつて來るからだ、殊に今度は徵用工といふ違つた世界から徵用された人が工場、鑛山に入つて來ると大となつてゐる、この際どういふ具合に勞務管理を進めて行くべきだらうか

能率向上に重點

佐藤 要するに勞務管理の目標は最少の人員、時間で最大の能率を發揮することである、これには規律、訓練、錬成といふことから出發せねばならんと思ふ



話すとまづ移動防止、稼働率の引上げだが、任意行はれるのみだ、現に角百パーセントに近いものに引上げさへすればいゝのである、例へば稼働率の引上げについて見ると炭鑛方面では、昭和十八年中には七〇パーセント以下のものもあつたものが、最近は八〇パーセント位まで向上してゐるが、その稼働率にしても三ケ月又半年後の稼働目標を九五パーセント以上に定めてこれに達するまで時間觀念を一般に徹底せしむべく、又仕事隊や慰問班を十分活動させてどんなことがあつてもその稼働率の向上を期せなければならん

次に勤勞管理の主眼は能率の問題にある、これを石炭採掘に例を採つて見ると從業員一人當り平均採炭量を〇・三三噸とすれば一千噸を掘るに要する勞務者は三千三百卅三人である、半噸掘る者になれば二千人で濟む、一人が一噸まで行けば一千人で濟み能率の差が出てくる賃金から見ると〇・三三噸の者は三千三百卅三人だから賃金一圓として一日の總賃金は六千六百六十六圓、一ケ年三百日稼働するものと見て十九萬九千九百八十圓、半噸掘出す者とすると二千人だから一日の賃金二圓五十錢、一日の總賃金五千圓、三百日稼働するとして一ケ年では十五萬圓、一噸掘出す者は一千人だから賃金として一日四圓にすると一日の總賃金四千圓、三百日の稼働として一ケ年十二萬圓の總賃金になる

◇能率と賃金◇

能率(一日の出炭量)	〇・三三噸	〇・五〇噸	一・〇〇噸
千噸出炭に要する勞務者(人)	三、三三三	二、〇〇〇	一、〇〇〇
一日の賃金(圓)	二	二・五	四
一日の總賃金(圓)	六、六六六	五、〇〇〇	四、〇〇〇
稼働日數(日)	三〇〇	三〇〇	三〇〇
一ケ年間の總賃金(千圓)	一、九九九	一、五〇〇	一、二〇〇

この數字は必ずしも不可能ではない、限りにそれまで能率を引上げるとすれば人員に於いても三分の一以下で足り、二千三百卅三人といふ者は他の鑛業に廻し得る、更にこれに要する社宅になると家族持一千三百卅三戶を金額に示すと一戶四坪、坪二百圓として一戶八百圓かゝり全部で百八十六萬六千四百圓となる、被服にしても一人分の作業衣、帽子、地下足袋その他で四十圓はいる、二千三百卅三人では九萬三千三百廿圓かゝる

食糧になると重勞働者は一人一日六合で一般人の二合三勺に比べ差引三合七勺が特配になる、三合七勺を一ケ年の稼働日數三百日と計算すると一人一ケ年一石一斗一升、二千三百卅三人では二千五百八十九石になる

要は稼働率の向上

最小人員で最大能率

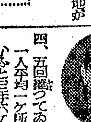
このやうに能率の上ると否とは賃金に於いても資材に於いても莫大な差を生じる、これが何萬噸といふやうなことになれば國家的に見ても大きな問題になると思ふ、この點今後如何に合理的に能率をあげて行くかが問題だ、今のところ能率をあげる方法としては色々の設備を良くして行くことも大切だが、その前に錬成といふことに重きを置かねばならんと思ふ

炭坑方面では三日、五日といつたやうに錬成をやつてゐるところもあるが成績が惡いやうだ、炭坑側でも眞に錬成の効果といつたことを認識してゐる向があるのではなからうか、よく普通などでも聞くが增産を急ぐため勞務者が不足で短期間の錬成で坑內へ入れるところがありはせぬか、本當だとすればこれは大變な誤りである、こんな考へ方のところでは名は錬成だが眞の錬成ではなく坑外の雜役にでも使つてお茶を濁してゐるのじやないかと思ふ

要するに短期間に時間認識と勤務精神を受け軍隊式の訓練により基本動作を反覆、錬成するので教練自體が目的でないから炭坑作業を中心とした錬成を繰り込んでやることが必要で、どこに重點を置くかをはつきり把握して短期間に基本動作を教へて行くといふことにしなければならん、錬成の期間を限つて將へ又その方法は非常に重要だといふこの二點に原因があると思ふ、この點今後大いに改善の餘地があると思ふ

職業觀涵養

別役 朝鮮の勞務の問題で最も困難とせられてゐるのは勤續の點だ、これについて色々と研究中である、なほ昭和十七年七月一日から昭和十九年二月十日までに私の方に依頼して來た內地人の事務員志願者によつて統計を取つて見たところ、男子志願者卅八名が何ケ所に勤務してゐたかといふと平均四・二ケ所で四、五回變つてゐる



一人平均一ケ所に何程ゐたかといふと三年六ケ月、志願者の中年齡は最少が十七歲、最高が六十二歲である、女子の方では志願者五十一名勤務場所を變つたのが四回卽ち三・四となつてゐる、平均一ケ所で八ケ月勤務してゐる、年齡は十五歲より四十六歲である、その履歷によれば小會社、商店員等の勤續は大體男は一年六ケ月、女子は五ケ月となつてゐる、女子の異動が多いのは鬼も角として男子に定着性が缺けてゐるのには驚く、男子は一生の生活を託すべき職業を選ぶべきだと思ふが、それが斯の如く轉々としてゐる、職業觀念といつたものが[illegible]と思ふ

に遡いやうに思ふ、內地人で而も六十二歲にもなり履歷書を持ち廻らねばならんといふ、無論事務員といふからには智識階級であらうが、これが朝鮮まで來て今日までこんな風では情ないことだ、女子にしても四十六歲といへば相當のものだが、これらは所謂中堅者として勞務者を指導して行かねばならん立場にある、それがこんな具合に動いてゐてはその資格なしだ、朝鮮で今一番缺けてゐるのは矢張り定着性である、僅か百名足らずの統計であり、京城中心だから全部を知ることは出來ないが、これを見ただけでも錬成の必要が大いにある

佐藤 錬成にしても幹部、中堅指導者、勞務者の錬成と三つに分けてやらねばならんが、私はまづ幹部の錬成からはじめるべきだと思ふ

國民勤勞動員所を監查

圓滑なる動員配置推進

【東京電話】國民勤勞の國家的管理なる動員配置を推進すべく政府は一日から國民職業指導所の强化を斷行、一日から國民勤勞動員所として發足を遂げたが、さらに今後における國民勤勞動員所の運營に適正を期するため同日附官報をもつて國民職業指導所監查規程の改正による國民勤勞動員所監查規程を公布すると共に厚生、內務兩省訓令をもつて地方長官宛通牒を發した

しかして右監查規程の內容は地方長官が厚生部長(警視廳は保安部長、大阪府は勤勞部長)をして隨時國民勤勞動員所の監查を行はしめ官紀の振肅ならびに機能の增進をはかるを目途としてその業務運營の狀況を檢明し、現地指導に遺憾なからしめるもので、監查事項は

所長の業務運營の方針▲所員の組織、勤務及び配置の狀況▲所員の指導教養の狀況▲訓示および命令徹底の狀況▲業務成績の良否およびその事由▲事務の處理及び會計經理の適否▲民間に對する所遇の狀況▲市町村の行ふ國民動員事務の指導▲統制狀況▲との連絡狀況▲他の官公署關係團體の指導、運營及び經理の狀況

などであり監查終了の際には監察員はその狀況及び意見を地方長官に報告し、さらに地方長官はその報告書に意見書を添附して厚生大臣に報告するものである

なほこのほか地方長官は國民動員所長をして適時自體監查を行はしめることになつてゐる

戰時勤勞管理講座

京城商工會議所、京城勞務協會では十五日から五日間商議所で戰時勤勞管理講座を開催、各方面の權威者を講師として各會社工場幹部、人事勞務管理擔任者約八百名に受講せしむることに決つた、希望者は十三日迄に商議所府社會課、京城商工相談所宛申込のこと、講師及び講義科目左の如し

▲勤勞管理の實際に就て 朝鮮工業人事部朝鮮出張所長別役雄久馬氏▲錬成と勤務狀況に就て 交通局事務官島田俊一氏▲從業員の指導訓育に就て 京城運輸部長坂本茂氏▲工場の環境衞生に就て 城大教授水村正一氏▲勤勞者の榮養に就て 京城醫專教授黒川榮三郎氏▲國民徵用援護に就て 京城國民勤勞動員所長鈴木貞一氏

また廿日午後一時から同所に於て工場勞務部員四十名を集め交通局保健院副院長山田博士を招聘、保健管理協議會を開催する、參加希望者は十五日迄に同所に申込みのこと

滿洲雜穀入荷順調

朝鮮の食糧需給に對して重要地位を占める滿洲雜穀の入荷狀況は極めて順調で三月末日までの計畫に對し既に五十八%が着荷した、これは滿洲國の日本食糧輸出計畫に對する熱意が輸送せることを示すもので、鮮車の如きも昨年とは比較にならぬほどの力の入れ方であるが、この分でゆくと、鮮滿の輸送さへ良好ならば本年の食糧は先づ大丈夫といふ見通しがついたやうである

海洋筏會社

朝木社で企圖

造船材その他內地材の移入については昨秋試驗的試みとして實施した海洋筏が豫期以上の成績を收めたので、これに自信を得た朝木社は本年もひきつゞき實施すべく目下係員を九州に派遣、準備中であるが大體、四月頃實現の見込みで規模も〇〇萬石といふ大仕掛の計畫である、なほ十九年度計畫としては朝木社は日本木社との提携により專ら海洋筏を採み新會社の設立を企圖してゐる

朝木の機構改革

鮮內における重要生産事業の擴充に伴ひ重要資材たる木材の需要は激增するに至つたので總督府は過般、非常行政措置による木材統制機構の改革を斷行、朝木社の機能を擴充し以て鮮內における木材需給の圓滑化を期することとなつたが右に伴ひ朝木社は社內陣容の擴充と機構の全面的改革をなすべく計畫中のところ漸く決定、三月一日より新陣容を以て發足した、これによれば生産部の廢止に伴ひ營業部を業務部に改め生産部門を包括、部長には表谷常務理事が就任すると共に新たに物資、製材、交易の各課を新設、一方現場第一主義のもとに支店、出張所、駐在員事務所の大々的新設、擴張を行ひ生産、配給の緊密なる聯繫を期してゐる

農産物貯藏所

專賣局收納所を開放

【東京電話】大藏省では決戰非常措置要綱の趣旨に基き率先して、既存國有建造物の積極活用を圖るため今回先づ各地方專賣局の煙草および鹽收納場を各府縣團體などをして供出、米その他農作物の一時貯藏および集荷などに利用せしむることとしその使用手續についても出來るだけ簡易化の方針を決定、この旨二日の次官會議で谷口大藏次官より報告した

なほ煙草および鹽の收納場は煙草は全國五十四、鹽は二十六合計八十ケ場である

時事小解

朝鮮の交易統制

內地交易營團の設立以來、朝鮮の交易統制機構をどんな形態で整備するかが關係方面の注目の的となつてゐたが、本年一月十五日を期し對圓域交易調整機關である朝鮮東亞貿易會社に第三國向輸出入調整機關たる朝鮮貿易振興會社を吸收、合併して資本金八百萬圓(半額拂込)の朝鮮交易株式會社を創設し、圓域と南方諸地域を通ずる一元的交易統制機關とし發足させた

この新統制機構の設立によつて從來輸出入品等に關する臨時措置法に基き總督府の許可に留保されてゐた物品の輸出入は今後悉く同社の委託のみによつて輸出入しうることになつたのである、兩社を合併して一本建の統制機關にした理由は大東亞戰爭の勃發によつて第三國との貿易は殆ど停止し、一方我方が確保した南方諸地域は從來の第三國的性格を脫却して滿洲國と同一性格の共榮圈となつた爲第三國と圓域とを區別する必要がなくなり、從つて兩社併立の意義がなくなつたためである

新會社の準據する法令は國家總動員法第九條に基く貿易統制令施行規則で、その主なる業務は一、政府の定むる計畫により物資の輸出入(輸出入に伴ふ計畫物資の買入賣渡し又は委託)、二、輸出品用原材料及び包裝材料の輸入、買入、加工、保管及び賣渡、三、前各號の業務に附帶する事業などで、爲替交易による差益金に對しては、差損金は直接輸入分と共に右特別會計から受理して支拂ふことになつてゐる

從來は生必品を中心とする綜合的物資交流に關する業務を取扱つてゐたが、戰局の進展と共に交易方針の根本的轉換を國家的に强く要請されるに至つたので、同社もこの國策に順應して、從來の輸出主義を一擲し、今後は戰力增强のための重要物資の輸入中心主義に轉換した、朝鮮の輸入物資としては主に石炭、鐵土質、鐵鑛石、工業鹽、苦汁、棉花などで、輸出はこれら物資を輸入するための手段として居住用の包裝材料、機械、セメント、藥品、海産物、農産物、その他雜品を主として輸出することになつてゐる

最後に內地交易營團とその使命を異にする點は、交易營團は重要物資管理をも命ぜられてゐるのに對し、朝鮮に於ては重要物資の管理は過般設立した朝鮮重要物資管理營團がこれを行ひ朝鮮交易は交易統制業務のみに限定してゐることである

小型熔鑛爐の切替

出銑率の增大に拍車

十九年度において朝鮮が負擔する鐵鋼增産の目標達成を期し總督府は目下各般の對策を講じつゝあるが、殊に銑鐵の增産には小型熔鑛爐の出銑率引上げが絶對に要求されるので、小型熔鑛工場の建設進捗と相俟つて熔鑛の精錬化、ビーハイブコークス、原鑛石等の確保につき近く中央と折衝を開始することとなつた

卽ち現在鮮內小型熔鑛は建設當初の設計が簡略に過ぎ熱風爐の如きは一部を除いては全部常式であるため常時高温の保持が困難なので、今後は漸次熱風式の熱風爐に設備の切替へを行ふことになつてゐる

次に、コークスの手當は從來コークスに依存してゐたが今後は原料炭の供給を受け各小型熔鑛工場にビーハイブコークス爐を建設する計畫であり、また原鑛石の手當と關聯して硬鑛の粉鑛を積極的に使用せしめるため各工場の鑛石燒結の三割程度を處理するポット燒結爐を建設せしめる計畫で、これ等の設備資材の確保を期してゐる

なほ小型熔鑛工場にビーハイブコークス爐を建設するにしても資材と原料炭の手當を講じなければならず、これがため三國石炭工業その他の業者にビーハイブコークス又は煉骸炭を增産せしめ、小型熔鑛用コークスの自給率引上げを圖る方針で、小型熔銑の增産態勢を漸次確立しつゝある

第三回農業顧問會議

總督府農商局では四日午後一時四分島ホテルに第三回農業顧問會議を開催、家畜飼料對策について意見を聽取する

決戰文化

新兵器の正體

陸軍大佐 松尾春重

新兵器は敵側にその正體が判明するとその威力を著しく殺されるものであるから列國共に防諜上特に意を用ひて居るので其の正體は中々判らぬのが通常である、又敵側の新兵器を過大に宣傳し、或は恐怖觀念から敵の新兵器を實力以上に過大評價してデマを飛ばすこともあるから新兵器に對しては冷靜な觀察をすることが必要である

飛行機 飛行機の進步は飛躍的なので今や戰場の王者である、その性能も向上の一途を辿り快速、强馬力、强武裝へと進み戰鬪機すら二千馬力や防火裝置を完備するに至つた、從つてその重量も增加する一方で戰鬪機でも五、六噸、重爆擊機になると三、四十噸に達してゐる、我が鍾馗、呑龍や米のP五一、B二四等はその花形の例である

防空兵器 飛行機の進步に對抗するために高射機關銃、高射砲など防空兵器も益々發達を來し最近の高射砲は口徑九糎から十二糎、射高が一萬米以上にも及ぶやうになつた、又聽音兵器も進步し、對空『ロケット』砲を採用してゐる國もある

戰車 軍機械化の核心を成す戰車の發達も顯著となり、性能威力益々强化せられた關係から其の重量も大となり、輕戰車でも十五瓲乃至二十瓲、重戰車になると五十瓲乃至六十瓲、中には百瓲にも達し裝甲の厚さ二百粍、備砲も七糎半級から十糎半級のものを使ふやうになつた、かのソ聯の對獨戰車に對して猛威を擧つた獨軍の『虎』戰車は口徑八糎八の長加農を有し重量六十瓲もある重戰車である

對戰車兵器 新鋭戰車に對抗する爲對戰車砲もその威力を增大し最近では七糎半級から十糎半級の火砲を用ひ、又高射砲や自走式突擊砲もこれに流用するやうになつた其他『ロケット』砲や地上爆雷、對戰車地雷等もある

電波兵器 『ラヂオデテクター』や『ラヂオロケーター』は現代兵器界の寵兒である、何れも光線に近い指向性大なる超短波を前方に送り其の反射を利用して敵を捕捉し或は砲の彼方より遠く之により敵機を精密に測定して火砲に射擊諸元を與へる兵器である從つて列國共に要地の防禦には勿論、艦船や飛行機等にも盛に利用されてゐる、尚電波兵器には彼我識別機又敵の電波兵器を妨害する各種の兵器がある、最近電波の反射の少い木製飛行機が再び登場して來た、英軍の『モスキート』(蚊)機は其の代表である

其の他 磁氣機雷(磁力を持たせた機雷)で艦船が之に近かよると吸ひついて爆發す、音響機雷(音響を感じて爆發す)時限機雷(一定時間を經て爆發す)グライダー爆彈(ラジオで爆彈を積んだグライダーを操縱)裝甲艦(移動トーチカで戰車により運搬す)海上トラック(水陸兩用船)等色の新兵器が出現してゐる(朝鮮軍報道部提供)

この本

松浦武四郎 横山健堂著

當然今日まで出づべくして未だ出なかつたものゝ一つは松浦武四郎傳であらう。北海道の命名者であり、經綸の人である。世に有名な探檢家は澤山あるが彼の如く學問に政治に趣味に七面八臂の而も偉大なる才力の人は少い特に北邊の事情を察々けはしい秋に當りあれほど探險まで深入りし落着き拂つた研究を遂げたのが彼である。彼の傳記と業績を知るは實に此の教訓である、本書は主題の優れた著者の優れたのも嬉しいことである。既に天下に名ある著者にして何且つ執筆以來最早三十四五年を經たと聞いては實に拜んで讀むべき本である。更に貴重な地圖其他の插圖を入れてあるのは嬉しいことである(城大教授[illegible])

文化便り

◇朝鮮文人報國會では本年度會員名簿を作製し全鮮の役員へ一日發送した

◇陸軍病院慰問俳句會 朝鮮文人報國會俳句部會主催で三月五日午前九時より陸軍病院傷兵療養院で開く、院內患生五句、十時締切

◇ビルマ及びバリ島畫展を本社主催で八日より九日間三越で展示する

◇朝鮮美術家協會會員岡島正元氏は軍報道部の依囑を受けて陸軍記念日ポスターを制作中

◇白川榮二氏(國語學者)『國工之朝鮮』編輯長に就任した

◇徐野斗鉉氏(文人報國會員)金剛山地方へ旅行中七日歸城の豫定

血戰錄

街に殘るすべての鐵材を、一片も殘すことなく戰ひの第一線に送るべきだとの心から、街路の地下の瓦斯管や電話線のために設けられた鐵蓋をもこゝに回收された▲そこへ、コンクリート製の代用品の蓋が配られて、深い穴が塞がれたが、鐵蓋の場合と違つて、コンクリートなるがゆゑにその厚さが十糎以上になつてゐる▲蓋を回收することは當然であり、むしろ今まで取り殘されてゐたことは意外を感ずるのであるが、その代用蓋が十糎以上も平坦な街路に盛上つてゐる存在は何とか工夫があるのではないかと最初見た瞬間思つた▲果して設置されて一日たつかたゝぬに、もうコンクリートの代用蓋は往來する車馬のためか、何のためかに、こはされてゐる▲設置に際しての工夫の足りなさもさることながら、往來に心使はぬ人々の不屆ぶりが痛憤に堪へない▲凡そ心なき人間ほど、無意味に物を毀したがる癖がある。罪もない電柱に石を投げつけてみたり、はては看板をたゝき毀してみたり、大切なコンクリートの代用蓋をぶち破つたり、毀したりといふ——まことに呆れたことである▲上品にいへば、教養の足りないゆゑだといふことになるが、率直にいへば、野蠻だといふことになる▲斯く、高き精神に立つて、大いなる目的に向つて大東亞戰爭を戰つてゐる國家の面目においても、代用品なるがゆゑに、粗末に亂暴に扱ふなどといふ不眞面目は許されない。銃後の眞劍さは一個の代用品の扱ひの上にも現はれなくてはならない。

地方行政協議會長

海運局長兼任 發令

【東京電話】政府は地方行政の綜合運營を期し去る廿三日福岡鐵道監督局長に九州地方行政協議會長福岡縣知事吉田茂氏を任命したが運輸通信省では海上輸送力の增强をはかるため地方海運局長をも各地方行政協議會長をして兼任せしめることになり、このため地方海運局制を改正し、新に次長制を採り局長たる會長知事の下に從來の海運局長をそのまゝ次長に任ずることゝし、二日附次の如く發令した

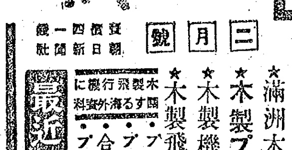
兼任東京海運局長 東京都長官 大達茂雄
兼任名古屋海運局長 愛知縣知事 吉野信次
兼任神戸海運局長兼大阪海運局長 大阪府知事 河原田稼吉
兼任門司海運局長 福岡縣知事 吉田茂
兼任新潟海運局長 新潟縣知事 前田多門
兼任海運局長 宮城縣知事 丸山鶴吉
兼任小樽海運局長 北海道長官 坂千秋
海運局長 (横濱) 兼任横濱海運局次長
名古屋海運局次長 同(名古屋) 新
大阪海運局次長 同(大阪) 伊藤順一郎
神戸海運局次長 同(神戸) 昭野英一
同(門司) 服部辰
新潟海運局次長 同(新潟) 宇川春景
函館海運局次長 同(函館) 長井寶行
小樽海運局次長 同(小樽) 石坂秀二

特殊口紅 ホ・紅 クロバー

撃ちてし止まむ 陸軍記念日特輯號 日の出 三月號
勝敗は銃後の戰に決す 座談會 (大本營)秋山中佐(外務省)太田課長(情報局)高橋課長 其他數氏出席 勝敗は國民の戰意によつて決するといふ大消耗戰の實相が語られた國民よ今こそ奮起せざれば悔千載に殘さん
大密林戰 南方の密林戰は恐く密林戰だ、その實相を語る 黒崎少佐
陸軍豫科士官學校參觀記 八幡良一
評判の防空群漫畫訪問記 近藤日出造
近代戰と柔道 九段 三船久藏
塹壕に就け 陸軍少將 櫻井忠溫
若人よ今こそ立て 陸軍大佐 友森清晴
我が軍陣醫藥の勝利 陸軍中佐 深田益男
增産に頑張る模範工に訊く 相馬基
春場所戰線批評 ◇船舶兵とは… ◇頑張れ兵隊さん
好評長篇 偉大なる夢 江戸川亂步
好評長篇 海から來た男 梶野悳三
北滿小說 飛雪の兵 赤川武助
海員小說 海の梟 大江賢次
鑛山小說 炭山舞ひて 大林清
農村小說 華燭の宵 大原富枝
新潮社 (價四拾錢)

科兒小永德 醫學博士 馬幸橋中 一四町門小西 電話光(3)1960
結核 ヨーチオゾコール 京城府中區本町二丁目五番地 陽光堂製藥會社

海の戰局 讀物國民雜誌☆ 特輯三月號 四十錢 戰線文庫
敵總反攻擊破 敵潛艦擊滅の 海軍機雷學校 山岡莊八
敵潛艦空襲擊破の眞相座談會
☆海上決戰と補給線 富永謙吾
☆アメリカの航空作戰 園川龜郎
☆成層圈爆擊機 北川義雄
☆對日攻勢四人男 新名丈夫
ニューギニア 李從軍記 大澤綾子
戰爭と石炭 井上友一郎
航空小說 索敵機 大下宇陀兒
獻納說話 お茶の水物語 眞杉靜枝
明朗小說 海・兵 佐々木邦
航空小說 雷擊機 古川眞治
興亞日本社發行


航空朝日 三月號 定價一圓 朝日新聞社
特輯 航空機と木材(2)
★木製機出現の新傾向 駒林榮太郎
★木製機對金屬機 齋藤少佐 保木大尉
★プラスチック飛行機工作法 西澤少佐
★木製機用接着劑及び塗料 宇野昌一
★滿洲木材を中心とする木製機 福渡七郎
★木製プロペラの誕生 石井市次郎
★木製機用材料の强度 河島謙三
★木製飛行機の接着劑 田中信吾
木製飛行機に對する海外資料 ・プラスチック飛行機製造法 ・合成樹脂展板の製造 ・プラスチックスと金屬
最近の敵航空事情

榮譽に輝く殊勳の勇士

ケ月後に軍旗護衛の大任を果し、皇軍の本領を遺憾なく發揮した、ラエ作戰の遠藤部隊軍旗衛兵陸軍中尉小崎春雄十一勇士の偉勳は今度畏くも上聞に達せられたる旨發表された、敵機襲撃の洋上に廿日間食べるに食なく、たゞ一途に軍旗の尊嚴を奉さんと戰ひ拔いた崇高なる決意と旺盛なる責任感は聞く者をしてたゞたゞ感激の涙に咽ぶのである、極めて困難なる情況のもとに死力の限りを盡しかも任務を達成するこの陣兵の心をいま銃後は全部に活かし死力を盡して敵撃滅の戰鬪員となり、盛しき戰力を盛りあげねばならぬ、こゝに光榮に輝く勇士の奮戰の苦鬪をきく

御稜威の鴻大さ　軍旗の下必ず天佑神助あり

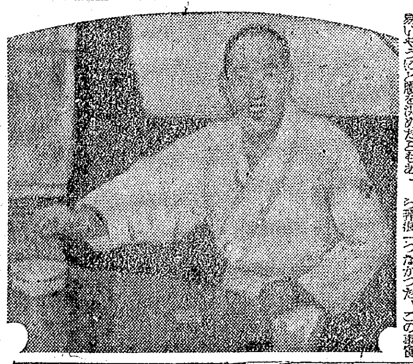
小崎中尉

【東京電話】目下赤〇〇陸軍病院で加療中の光榮に輝く小崎春雄中尉は一日「軍旗の下必ず天佑神助あり」と次のやうに語つた

よくもあんなに氣力が持てたものだ、屈ひ出す度にから居はずにはゐられない、敵機は何回となく機銃掃射を浴びせる、食糧はなくなる、陽はかんくと照りつける、水はない、戰友達はばたくくと仆れて行つたがわれわれは初めから

『俺達は軍旗の側にゐるんだぞ、この軍旗だけは石にかぢりついても護り通すぞ、たつた一人でもいゝ、生殘つて奉持するのださうだ、そのうち誰か助けに來てくれる』

このやうな信念の下に戰つた、そして飢餓に襲はれながらも陸地へ陸地へと漕ぎに漕いだ、僅かな水を飲んで一人が十分漕げば次の者が交替するといふ風に全く死物狂ひだつた、中には足腰も立たぬ程疲勞し切つてゐるのに向かやらねばと氣力をふるひ立たせる者もあつた、また漕ぎ疲れて次の番と交替して卅分と經たぬうちに遂に南溟の露と消えた者もあつたのである、こんな時敵機が機銃掃射を浴びせかけることほど腹の立つことはない、こちらには反抗に立つ火器は一つもない、武器といへば軍刀のみだ、このげんこつで奴等を叩きのめしてやれたらと切齒扼腕したとか、最早かくなるうへは軍旗を小艇に結びつけいざといふ場合に處理し易いやうにと腹を決めたこともあつたが天佑は我にあつた、われわれはつひに陸地に辿りつくことが出來たのだ、これは軍旗を〇〇に奉安した時氣づいたことであるがその時軍旗には彈痕一つもなかつた、この事實は何を物語るであらうか、私は御稜威の鴻大さを今更の如く知るとゝもに『軍旗の下必ず天佑神助あり』の感を深くした



【寫眞=小崎中尉】

忠魂が我を護る　前線の叫びは唯飛行機

並木軍曹

【東京電話】軍人援護の日に輝く並木軍曹は負傷も殆ど癒え現在東京〇〇病院で最後の治療に專念しつゝ命日を待つてゐるが、二日午後同病院を訪れると軍旗護衛の任に雄々しく殉ぜられた部隊長の最期について次のやうに語つた

クレチン岬で敵機百數十機の猛る攻撃を受けたのは、三月三日で遠藤部隊長殿は不幸にも敵彈に中られ、半ば傾きかかつた船上に一同が起立して部隊長殿の遺骸に訣別を行つてから私ども軍旗護衛の任に當るものは近藤中尉の指揮で救助艇に乘り移りました、間もなくグラマンと思しき敵機が救助艇を襲撃されましたが、中尉が最後までいひ續けてゐたのは軍旗を軍旗といふ言葉です、そして自分に向つてよく最後を見届けて「兩親」に報告してくれといつた後軍旗を胸に陛下の萬歳を奉唱されて靜かに逝かれた實に立派な御最期ですかうした忠魂の數々がわれくを見守つたのでせう、その後八日にわたる敵機の銃爆を受けましたが不思議にも救はれある時は敵機のプロペラで艇が流されるくらゐすれすれに三十回ほど頭上を旋回されてもわれわれは銃彈を受けなかつたのです、またマーカス岬のリーフに辿り着いた時でも週一回來るか來ないかの土人が其日偶然リーフに來てわれくを案内し、部隊に届けてくれたことなどを思ひ合せると全く御神助であつたと思ひます、漂流中飢餓にも隨分惱まされました、けれども最も強く激しくわれくの胸に響いて來るのは誰もが飛行機を一機でも多くの飛行機をといふ叫びでした【寫眞=並木軍曹】

垂範の"道義"　決戰官吏の容儀制定

決戰態勢の陣頭指揮に起つ官公吏は民衆の師表として執務に或ひは私生活に率先垂範の實をあげるものとして、總督府ではさきに官公吏服務紀律、ついで總督府職員勤務規律法を制定、さらにこんどは"總督府並に所屬官署職員執務容儀"を制定、決戰官吏の身だしなみを明示しこの"容儀"は廿四條よりなり、その第一條において執務における常在戰場精神を強調し、第二條以下事務の迅速處理、出勤退廳時間の勵行、上司に對する禮、同僚及び部下に對する稱呼、外來者に對する應對、服裝、言葉、態度など官公吏の公務にのぞむ一切の容儀が明示されてをり、この容儀は公吏、一般民間にも容儀の指針となるものがある

本府並に所屬官署職員執務容儀

第一條　執務は常に戰場にあるの覺悟を以て職責に徹し必ずその責任の完遂に努むべし

第二條　緊急處理を要する事案に付ては必らず處理の期限を勵守し以て完了を期すべし

第三條　登廳は常に定刻前に出勤し直に執務に着手し得る態勢を整ふべし

第四條　勤務及び集會時刻は之を嚴守すると共に其の通知を受けたるときは速に出席有無を回答すべし

第五條　常に容儀を整へ服制あるものの外男子は國民服令に依る服裝を用ひ頭髮は短く刈るべし但し女子は活動に便なる服裝を爲し頭髮は正しく整ふべし

第六條　執務中は談話雜談を避け、濫りに離席徘徊し又は他人の執務を妨げざるやう努むべし

第七條　用務の爲長時間離席せんとする場合は其の行先用件を明瞭ならしめ置くべし

第八條　言語は明朗を旨とし上級者に對しては相當の敬語を用ふべし

第九條　上級者に對する稱呼は通常その官職名又は氏と官職名とを稱呼すると共にその官職に應じて敬語（閣下又は殿）を附すべし上級者に對する自稱は私、自分又は氏を用ふべし

第十條　同僚及び部下に對してはその官職名又は氏と官職名或は氏と相當の敬語を以て稱呼すべし

第十一條　上級者より下命せられたる事項は復唱並に實行報告を爲すべし又命令事項の完了が長期に亙る場合は中間報告を爲すべし內外に對する折衝乃至照會事項は可及的文書に依るを省き電話に依るべし

第十二條　電話を掛くる場合は先づ自己の所屬又は氏名を告ぐると共に相手方を確め目的を簡潔に要領よく通話すべし

第十三條　電話を受けたる場合は直に所屬又は氏名を告げて通話し必要の事項は迅速確實に處理し取扱事項に誤りなきを期すべし

第十四條　談話の要旨は成るべく之を手帳に記し又は書類を作製し置くべし

第十五條　敍位、敍勳、任免及び進退等身分に異動ありたるときは關係上級者に對し申告又は挨拶を爲すべし

第十六條　公務の爲出張を命ぜられたるとき及び歸任したるときは關係上級者に對し其の旨申告又は挨拶を爲し歸任後所定の手續に依り復命書又は事件の仲介に依り口頭に依り復命すべし

第十七條　登廳及退廳の際は上級者に對し挨拶を行ふと共に同僚相互に挨拶を交すべし

第十八條　上級者と相對して着席する場合は正しき姿勢を保つべし

第十九條　上級者より先に椅子に掛け又は許可なく座席を離るゝが如き行動は愼むべし

第廿條　船車內に於ては成るべく上級者に其の席を譲るを旨とすべし

第廿一條　對談又は集會等の場合に於て他人の發言中は靜に傾聽すべし

第廿二條　外來者に對しては懇切を旨とし用件の處理は迅速にすると共に特に言語態度に留意すべし

第廿三條　常に防諜、防空に心掛け紙屑、反古類の始末を勵行し身邊を整頓すべし

第廿四條　室內及び机上は清潔を旨とし常に整頓し殊に汚れ易き場所に付ては特に留意を用ふべし

軍馬はみ國の寶　總督、健馬報國祭で訓示

大前に執行された健馬報國祭の式場において小磯總督は次の如き訓示をなし、また市內の朝鮮馬事會長が馬事思想の普及につき次の如く語つた

總督訓示

決戰下一億國民の總力を結集して未曾有の難局を打開せんとするの秋に方り、朝鮮馬事會並に國民總力朝鮮聯盟共同主催を以つて本日茲に半島に於ける健馬報國運動を展開し、以つて時局の要請に應へんとするは寔に時宜に適したる施策なりと謂ふべし、惟ふに馬匹の軍事上並に產業上占むる位置の甚だ重要なるは茲に贅言を要せざると共にこれが資源の增殖と資質の強健を期待する所今日より切なるものなし、須く本運動の眞意を一般に徹底せしむると共に之が實施に當りては宜しく關係官民協心戮力その萬全を期せられんことを一言以て訓示となす【寫眞=小磯總督】

支援協力望む　市原朝鮮馬事會長談

現下戰局の情勢は南溟の空、海に陸に、彼我の血戰は益々慘烈の度を極め、戰力の增強は刻下焦眉の急務とせらるゝが、現戰爭の特性として何時大陸に其の戰局の推移を見るべきや逆睹し難きものがあり、此の如き戰局に對處即應すべき銃後の態勢を整へることも亦現下喫緊の急務でなければならぬ、就中我が朝鮮に於ける馬事に關して特に其意義を痛感せざるを得ないのである、即ち朝鮮に於ては軍馬資源涵養の爲、去る昭和十五年來內地より軍用適格馬を移植し更に咸南北、江原道の各道に在りては繁殖牝馬を移入して專ら馬の增產に努めたのであるが是等軍用資源馬の現狀は未だ所望の域に達せざること遠く、之を涵養するに故障馬がその大半を占めつゝあるの現狀である、これ畢竟一般に馬に對する知識が缺如し飼養管理は勿論、衞生、使役等がその宜しきを得ざる結果で、今にして之が根本的改善の施行に努めなければ到底軍の要望に對應せしむるが如きは思ひも寄らぬ始末で甚だ寒心に堪へないものがあるのである、茲に於て最も急速にこれらの缺陷を補正し進んで戰局の擴展に對する銃後の準備を完整する目的を以て健馬報國運動を提唱發起し、戰馬と云はず苟も軍馬の資源たるべき全馬を強健ならしめんとするもので、之れが實現には馬の所有者は勿論これを取扱ふ者が『御國の馬』たるの自覺と認識を把握することが肝要だと思ふ、これがために馬事會に於て今後各般の指導を行ふこととなつてゐる、此際一般民衆が本運動に對し熱誠なる支援協力を與へられることを切望して已まないのである、本運動の遂行に當り總督閣下より訓示を頂き感激、本運動の斷行を期する次第である

"必勝の合掌訓"　擊敵を期す逞し精神

戰ふ造る強い少年　仁川陸軍造兵廠　技能者養成所を見る（中）

軍隊の本當の躾は內務班の生活にある、內務班の生活が嚴正であればその軍隊は何時たりとも戰場に出陣し得るところの訓練が出來てゐると見て差支へない。

それでこの養成所でも生徒舍の生活、即ち躾成といふことに力を入れてゐるのであつて、たとへば食事中の動作、寢起の上げ下げにまで、一定の型と精神が行きわたつてゐるのである

午前六時四十五分、〇〇の生徒舍、すなはち第〇區隊と第〇區隊とそれぞれの食堂で朝食が始まる、こゝで一寸生徒隊の編成を説明しておかう、養成所では生徒舍に起居する少年達を以て生徒隊を編成し、これを〇區に分つてゐる、各區隊には准士官、曹長の將校級の區隊長を置く、更に一區隊を〇ケ班に分ち、軍隊出身下士官を以て班長とする、こゝでは前者が中隊長格であり、後者が小隊長格の仕事をしてゐる、各班は〇ケ班から成り兩年次の生徒を巧みに組み合せて班長とする、以上が生徒隊組織の概要である、生徒舍とこの組織とは全く合理的に結びつけてゐる

食事の時間になると先づ各區隊毎に食堂に入る、幹部が着席すると、起立、合掌して板書を唱へる

それから着席して食事訓に移る、幹部の一人が立つて合掌「食事訓」と唱へる、合掌唄昌して食事訓と生徒が唱和する『箸取らば天地御代の御惠み君と親との御恩を味はへ』『頂きます!』それで初めて箸を取る、食事中は一切言葉を發しない、軍隊式の食器を前にして、生徒達は非常に行儀よく食事をする

國民學校を出てから陸兵廠養成所の普通の少年達をこれだけ大勢一堂に集めて食事をさせたなら、或は騒々しくなるのではないかと思つてゐたが、これは又何といふ静かなことであらう、生徒達は一口食つては眼を閉じて靜かに咀嚼する、默想と言ひたいほどのしんとした雰囲氣である、これは本當に鍛成された躾だ、口に出さなくても腹の中でめいめいがしやべつてゐたのでは、こんな徹底した空氣にはならない、或る程度大人しくも氣まゝといふ感じを受ける、食後姿勢を正して默想、一同が揃ふと合掌して又食事訓を唱へる

「身にあまる寳物なりとも國の爲め人のためにはいとはざらなむ、いただきました」といつて一同起立、幹部に敬禮して室に歸る

七時廿分軍歌をうたひながら〇隊に分れて續々と工場に向ふ、幹部は少年達の姿が本部の建物にかくれて見えなくなるまで見送つてゐる、かうしてその日の作業に移るのであるが、訓練された規律は作業にも生かされる、職工に依る養成工の態度はすばらしいもので『戰場此處にあり』といふことの徹底精神は、生徒舍の生活の中に培はれてゐる教科の方針、基本作業も亦かうした鍛錬の鍛練精神を基礎にしてゐる、ヤスリ作業を見よう、ヤスリは手でかけるのでなくて腹でかけるものだと敎へる、全身全靈を行きこんだ動作である、文字通り作業がある、これは馬蹄形の鉄材に指さす馬力にはさんで、これを叩く訓練であるが、足を踏張つて右手で槌を振りあげる、左手は右腹の下にかいこむ、號令で槌を振り下して叩く、この叩き方がやはり手で叩くのでなくて、腹を以て叩き込むのである

かうした基本作業の狙ひは、技術の習得と同時に、全身全靈を打込んで機械に取組むところの精神の鍛錬にあるのである

工場では養成工員が教習してゐる、教室では普通工員が教科を教授してゐる、さうして十七時には教科、實習を終る、工場の教室、實習工場では、各作業場の清掃を終へる、十七時卅分歸舍、點呼は全員が整列して嚴肅な式である、下士から順次に點呼の申告をする、すべて軍隊そのまゝである

五十分後入浴開始、廿一時から〇〇の生徒會でそれぞれ夕禮を行ふ、一同整列して神前に頭を垂れ、"今日の日を感謝する"のことも工場で教へた。

ら日課に追はれてゐるので家の事を考へたり靜かに反省したりする餘裕は殆どない、日がくれて夕食後はじめてその時間が與へられるのだ、樂しい一刻である、廿時から十八時の夕食である、朝食と同様の形で靜粛に夕食をすませる

十八時卅分から十九時卅分まで入浴一日の汗を流してさつぱりしたところで、二〇時五十分まで明るい燈火の下で自習をする、家へ手紙を書くのもこの時間だ、朝から晩まで〇時間、一絲亂れずに

"怠る勿れ、緩む勿れ、忘る勿れ、こうした徹底した精神の生活が出來てゐるのである、二十一時卅分消燈

【寫眞=作業する少年たち（一朝紙）】「お疲れさまでした」と大人並（幹部連續寫眞）

聖汗を更生の道へ　普通犯猶豫者を動員

決戰下の司法保護事業は更生者の戰力化による人的資源確保のため當局でも重要な事業の一環として特に力を入れてゐるが、この司法保護事業の一部として普通犯の起訴猶豫者、刑の執行猶豫者を勤勞に起たせ直接戰力增強に寄與させようと、總督府法務局では今度普通犯の起訴猶豫者、刑の執行猶豫者を勞務に就かせて徹底の鍛錬を加へることゝなつた

朝鮮において年に起訴猶豫者が二萬五千、執行猶豫者は三千、平均合計約三萬を數へ、これらの者は今までそのまゝ釋放、司法保護の對象者として適切な保護觀察を行つてきたが、思想、少年犯をのぞく今後の普通犯猶豫者に對しては差當り鮮內の重要工場生產に動員せしめるもので、近く〇〇名を朝鮮金屬鑛業協會並に朝鮮勞務協會の取扱ひにより各工場へ動員、職場に於ける嚴しき勤勞の作業に從事せしめ更生の道を歩ませる、これらの動員者は各道より指定をうけた司法保護委員會がその選考に當り、勞務就勞にする前にそれぞれの地域で十日內外の鍛成を加へ直接各職場へついてからは宿舍の食、醫療の施設などを整備した厚生施設のもとに職業の調練に挺身するのだが、汗の錬成を行つて眞の皇國臣民として社會に更生の道を歩んで行くもので、その期間は原則として一年である、作業期間中には會社側から相當な報酬が與へられ、服務期間中は勞務文中優秀の成績によつて會社が登用するといふ溫情の制度も設けてゐる、しかし當局の義と涙に背いて作業途中逃亡したり脱落した者は、猶豫の恩典を認め得られないので、起訴、執行猶豫をそれぞれ取消して即時に起訴或は刑を執行する嚴しい掟もある

なほ思想犯の起訴、執行猶豫者に對しては知能的方面へふり向けて司法保護の實をあげる方途を目下考究中で、普通犯に對する勞務作業動員の開始に先立つて法務局では全鮮地方法院檢事局書記長及び作業の監督に當る朝鮮運輸會社側を集めて三日午前九時から京城西大門區竹添町司法錬成場にこの勞動員實施に萬全を期する打合會を開く

工場へ紙芝居

決戰下の生產戰線に立つて雄々しく增產を續けてゐる男女職工に精神慰安を與へることは能率增進上必要であるにも拘らず多數の職工を呼び出して慰安することは時間の空費も多く容易なことでないので各工場でもその慰安方法に惱んでゐるに鑑み永登浦署管內では少時間で最も効果的な"紙芝居"を斡旋することになつた、希望の各工場は同署高等係（電話永三五三）へ申込むこと

米英擊滅大會　鍾路區青年隊

"擊て米英"を旗印に國民總力京城府鍾路區聯盟では鍾路區役所、鍾路警察署の後援のもと鍾路區內の男女各青年隊、特別錬成所、特設防衞隊參加で"米英擊滅鍾路區青年大會"は五日午前十時より

增產の宣誓　新年祭期し各地で執行

米を麥を纎維を作れ、增やせ、と農業生產の飛躍的增強は愈々緊急に要求されてゐるがことに戰局はその度が愈々重大となり官民共に決意を強固にしてゐるとき十五日、五穀豐穰を祈願する新年祭を迎へ生產責任制を斷行するなど官民共に生產關係者は旺盛なる責任感のもとに增產を誓ふことになつたが國民總力朝鮮聯盟では新年祭執行當日を期し祭祀後關係者及び職員は朝鮮神宮または各地の神社の神前で農業生產責任完遂に關する宣誓式を執行し農業增產報國の決意を嚴に神前に誓ひ特に農山漁村の部落は農業報國運動實踐事項中から直に實行すべき事項等を定め實行を誓ひ式終了後附近に適當なる耕地ある場合は清淨なる箇所を選び注連繩を張り廻らし鍬初め式を執行することになつた

この他神祠の設置なき部落は三月十五日を中心に適宜日時を選定し集會所等の神棚前で宣誓式を執行する

在滿半島人の赤誠

【新京電話】在滿半島人の愛國の至誠、ハルビン道裡居住清河清秀（咸南出身）は康德七年以來三ヶ年間炭坑の伐採夫として務めてゐたが一昨年の半島民の皇民化運動に感激し以來皇國民の一人として何んとか御國に盡す道はないかと夫婦で相談の結果、國防獻金を思ひつき夫は僅細な日給のうちから一擧は內職の針仕事を蓄へ二千圓を目標に

ひた向きに貯蓄の結果一月廿八日念願の日までに二千七百圓に達したのでハルビン協和會本部を訪れ獻金の手續をとつた、なほ同氏は今後伐採夫をやめて專ら食糧增產により御國のために盡したいとその日より心機一轉、開拓民として更に御奉公することになつた

日曜も休日なし　郵便局爲替、貯金は正午まで

決戰非常措置により一億國民もれなく戰鬪配置につきこの一年を勝拔くため決戰の年として踏出したが遞信局ではこれに應へて遞信局の外郭にある特定局の日曜を斷然廢止し爲替貯金等の現金出納を正午まで取扱ふことになりこれで朝鮮遞信は本局から末端の特定局まで一齊に日曜休日を返上して職域遞信に挺身するわけだが現業特に特定局の日曜執務により非現業の本局では係長、課長は日曜休日なしの年中無休の決戰執務で係員は適宜仕事と睨み合せて課長がその都度休日を申渡す

また遞信關係では公共性のないものから振り落し重要通信はあくまで死守する態勢は既に整へられてをり貯金、保險、年金等においても非常拂ひが決定し遞信報國の顯現に新發足した

赤誠沸り立つ　翼をご獻金部隊續く

決戰航空に慣り起つ銃後が京城海軍武官府に寄せる愛行機獻納の赤誠は春とともに沸り立つ――東京都丸の內、朝鮮興業株式會社（取締役社長馬越鐵作氏）は海軍獻納機建造基金として金八萬圓を▲京畿府中區桑木町朝鮮印刷株式會社（代表理事小林健治氏）は十五萬四千百廿四圓五十七錢を▲仁川府公私立學校生徒兒童が汗の奉仕で蒐集した廢品代金四千九百廿キロを同じく回收金屬賣却代一千四百圓六十八錢と一緒に二日仁川からトラック二臺で運搬、飛行機、艦艇の一部にとそれぞれ獻納した

張切る女學生

【羅南】戰爭の第四年しならち切れさうな意氣と新しい理念を抱いて巣立たんとする東羅南高女今年の卒業生五十二名の"これからの進路"を伺つた、五十二名の一人殘らずが兄出陣の後を追ひ家庭を護つて總出陣して決戰乙女の意氣も凛々しい、飛鳥國の熱血沸らす赤十字看護婦志望の七名を筆頭に既に教壇の免許を手に入れた者十二名、次代の兵は私がと師範志望が十六名、女醫志望二名、上級學校志願者六名、其他は全部が教員、金組、驛員、工場と職場で闘はうと張り切つてゐる

黑ダイヤ戰士表彰

生產戰力增強の原動力となる石炭の增產は緊下の急務だ、炭礦に挑んで一瓲でも多く增產してゐる黑ダイヤ戰士の血みどろの勞苦を稱ひ、一だんと增產魂を振起するため、朝鮮石炭會社では、全鮮炭礦における永年勤續者に優良勞務者の表彰を行ふことゝなり、その該當者には三月初旬賞狀並に賞金及び記念品を贈呈する、なほ今日の受賞者は無煙炭礦では八十九名、有煙炭礦では八十七名合計百七十六名である

その中には十年廿年と永年に亙つて半生を炭礦に捧げ、增產に

制當を突破　叺生產戰に凱歌

【黃州】瀬工品需要の增加に鑑み、郡ではこれが增產を圖り、民間の指導部隊が一心同體となり、生產の指導督勵に不眠不休の努力を拂つて來た結果、當面においても熾烈なる增產意欲に依つて、あらゆる惡條件をも克服し去る廿五日現在において、目標十三萬枚を悠々と突破し增產の實力を昇げ米英擊滅に戰力を發揮してゐる

天然痘發生

【信川】警察署では最近天然痘が發生したので各面面と連絡防遏に大童の活動をしてこれが蔓延を未然に防止した

海軍獻金

國防獻金

【京畿】五千圓　京城三國石炭會社代表士井誠一氏▲百圓　京城府光化門通共盛堂印刷所横山高明氏▲百圓　中區南大門三ノ二八勝木利右衞門氏▲五十圓　京畿道始興郡君子面佐々木三五郎氏▲二十圓ノ府外朝鮮總業株式會社京城營業所合宿一同

【海軍】五千圓　京城三國石炭會社代表士井誠一氏▲百一圓三十一銭▲百圓　中區光化門通二三共盛堂印刷所横山高明氏▲百圓　中區南大門通勝木利右衞門氏▲五十圓　仁川萬石町朝鮮製鋼所西原善太郎氏▲五十圓仁川府山根町一九岡田萬次郎氏▲五十圓京畿道始興郡君子面佐々木三五郎氏▲五十圓仁川日立製作所仁川工場水戸清雄氏▲十圓　仁川東京芝浦電氣會社堀之內季一氏

飛行機獻納基金

二百圓　龍山區元町一丁目二十三番地塚原健太郎氏▲百圓　中區永樂町二丁目六九天理敎京城大敎會▲百圓仁川府花町雅晨熙氏▲百圓中區岩町一ノ七　篠塚ますしさん▲八十五圓五十錢　南大門通四ノ三三南大門國民學校三年五組一同▲六十五圓　仁川府宮町青年隊子部一同▲二十五圓中區壽町京城師範學校寄宿舍第二十班一同▲十五圓　龍山區桑町一淸鐘錦勝氏▲六圓五十錢　昭名六城一丁目西町會二組七圓五十錢　江原道旌善郡東山郡學校國語講習生一同

韓聯盟總長　愛國班員へ檄

突擊の大號令だ　さあ刻苦精進を誓はう

勝つまでは斷乎日曜、祭日返上する半島の決戰非常措置は決定した、日曜返上は五日の日曜日から實施し勤勞奉仕も同じく五日から停止するのだ、二千百萬は總て皇國臣民として祭祀に入つたのだ、この決戰に活りして韓國總力朝鮮聯盟韓總長は『半島全愛國班員は突擊の大號令と思ひ完勝の日まで刻苦精進を誓へ』

と一日次の如き感激を發した

刻苦精勵の極めを具體的に強調するため決戰非常措置が圖り國內に實施するものとして宣言へる國民の具體案が決定し直に實施されることゝなり國體として同時に軍需生產の增強に勵まされ目標であつたことで私は思ふ、國民人の輕產業の遂行は是を以てこれ迄もなく國防國家の完成に實體として行はれた戰時非常措置であつた、決戰を闘つて四項目の向ひ取り上げられた四項目の向ふ所は總ての國民が實踐すべき事柄のみである、これに依り日曜休日を廢して特別休務なしは當然のことである

戰爭樂は一週間で止された形となり國內の奉公體制は飛躍的の強化を示したのである、然しながらこれは單に官廳や一部事業局の從業者に對してのみ勤められた措置と解してはならぬ、國民一人々々すべてに適用せらるべき性質のものとして二千五百萬國民は共に今回の非常措置の眞意を把握して一億國民と同じく各部から各自の職域、各自の家庭にも常磐的非常的實行を確立しなくてはならぬ、今や我國はここまで驀進してゐるのである、官吏も民間人も勝つためにはすべてを捧げてひたすら戰ふ日本の國力を傾め一億の總力を併せてこの難局を乗り切るのである、朝鮮が大東亞戰爭に課せられた使命は決して物的資源の確保にのみあるのではなく二千五百萬國民が揃つて戰列に參加し大君のため喜んで死ぬる兵として敵米英を撃ち破る一兵として死の覺悟と氣魄がなくてはならぬそれがためには今回の非常措置を半島全愛國班員に下された突擊の大號令と視ひ、輕擧果敢に決戰非常體制を整へ而してその戰場の彼へ全身全靈の日常で刻苦精進して行くことを共に誓ひたいと思ふ

特火點

☆……"戰爭と藝術"その重要性を一般に認識させる爲先に本社後援で紙芝居脚本を募集した戲曲演劇研究所會では、廿九日同社にて紙芝居試演會を催した

☆……ところが初めて見る紙芝居に流石のお歴々も"ワームなる戲曲"と更めて藝術の重要性を自覺（?）發起の決意を先づ獻金へと藤澤に若干づつを醵出、金廿九圓也を得たので主催者を代表して湯村社長が一日、本社に來託したが"なる程、紙芝居の効果はテキメン"と湯村さんもホクホクである

陸軍記念日大陸軍展

國民總力朝鮮聯盟

會期…三月四日より十二日まで（九日間）

會場…三中井…軍隊生活篇　三越…軍隊解說篇　丁子屋…米英擊滅篇　和信…軍人勅諭篇　平田…その他

主催…京城日報社

後援…朝鮮總督府　朝鮮軍報道部　國民總力朝鮮聯盟

ラジオ　3日

第一放送　朝▲七・〇〇撮、〇・〇〇國民學校放送「六年生の時間」音樂「落下傘部隊」他新潟市山下國民學校兒童外▲二・四五職場向講話▲〇・二〇朗讀、軍國歌謠▲一・三〇放送所の時間「時句の咲ひ方作り方」（五）富安風生、大正琴「軍國歌謠集」吉岡壽正▲四・〇〇（城）國民學校放送「敎師の時間」「決戰下式後の生活指導」坂州公立國民學校長江崎護一郎

第二放送　夜▲六・〇〇少國民の時間「敵機來」▲七・〇〇時、歌謠曲「最後花」▲七・〇〇時、「女作造」物語「雛の賀」▲九・〇〇滿洲唄（仮）松竹劇場千代、作一白鳥ゆりえ▲九・〇〇…第一陸の母さん2、飛翔の唄▲七・一〇今こそ半島婦人總蹶起の秋、中西彦次郎、山茂、放送劇「戰時國內賛▲八・〇〇浪曲、航空部本隊軍用旅客機の話▲つくし2、輕の唄3、興打令、星錫寫、金鐵寺、松田1、淚黃梁2、茶念3、打令4、獨曲金山光哉、時事解說▲九・〇〇（東）時局戲劇、初野劇場劇、朝野淑

三寶特選品

消化と栄養　ビタミンB劑　ザアトミン錠

外傷と水虫　照內末　トフメル

東京都淀橋區下落合三丁目　三寶製藥株式會社

書道鍊成　漢字部（半島）　仮名部　…中央書道會

強力下痢止腸滿劑　海ンタセ　製造發賣元　二陽公司藥品部

紙屑　古文書　古帳簿の　お拂下げは　太平通り二丁目（電本三七四七）半島紙源　小坂八郎

神經科　精神科　京原病院　精神病無料相談　每週火木土正午～2時　京城清涼里町48　電話東⑤2643

製粉請負　籾穀粉末大量　他多少共製粉致します　至急特約販賣者を求む　藥品並に工業用原料其他　井出金藏

安田産婦人科　医学博士　安田實　京城旭町二（三越東側上ル）　電話本局②四六五五番

第十九回決算公告　三國石炭工業株式會社

神經科　城北病院

東新商工專修學館生徒募集

財團法人　大東女子商業學校生徒募集

早稻田大學附屬　早稻田工手學校

咳にパラコン液

武田產婦人科病院

第四回株金拂込催告　朝鮮林業開發株式會社　社長　阿部千一

官立無線電信講習所生徒募集　朝鮮總督府遞信局總務課　朝鮮無線通信學校

案內　內地行（發電工事）　職場　京城職業紹介所

朝鮮總督府鑛工局燃料選鑛研究所　鑛業技術員養成部生徒募集

輔仁女子商業學校入學試驗事務所　輔仁商業學校生徒募集

債權申出公告（第二回）　朝鮮貨物自動車運送事業組合

魚の一切れも明朗配給へ

今回休日の決戰によつて鍛に一億は一話の胸をら急い戰力の增强に振り當てねばならぬ、戰い鬪ひの決戰鬪爭面も鬪の一字で統一された、決戰の様相はまさに皇國に紛する前線を我々に教へてゐる。銃後一億は最早や毛や角の文句や理窟を並べて個人生活の安易さを計らうなどの非國民的な物の考へ方を清算しなければならぬ、いまや皇國日本は陸營の防路に立つてゐるのだ、總て戰力に防衛力に、そして攻撃力に總集し"新進一ケ年"を戰ひ拔いて傷い敵に前線銃後一丸となつて再び起つことの出來ない痛撃を喰はせねばならぬのだ、われくが勝利の勝鬨を高らかに打ち鳴らすには、常に泥水啜り草を嚙んで死鬪を續ける皇軍前線將兵の苦しい生活を想んで一億國民の日常生活を徹底的に簡素化しあらゆる國民生活必需物資のうち食糧勝つための戰力增强には凡ゆる角度からの挺身奉公はあるが何を置いても人間生活の基調をなす衣食、住の簡素整備が必要で、簡素化するためにはまた銃後お互が戰爭に對する底深な責任感と緊張した[illegible]ながらもグツと我慢して、公明に正大に、そして明朗さのうちに總ての闇路を遂げ皆闇へむからお手勝手をしなければならない、お互の生活が物資の乏しいのを理由に傾くしてはならぬ、しかし現實面にはまだく無障利得の追求に汲々として個人の生活を遂げんとして社會秩序を攪亂してゐる傾向が多い、特に日常生活必需物資の運搬などからの部面では決戰配給機構の運營の遲滯などから隨は不合理な闇や横流れ、箇賣等の現象が發生してゐる、この問題とても結局機構の整備强化など改めの消極は免れてゐるが、何れにしてもその基部をなすものは配給兩面に立つ人であり、その"人"の精神に照つて來る道德心、良心に缺くるものあらば決戰體制下への再出發に當り、われくの生活領域のかうした不德、惡路をお互の道德心と嚴粛の態度をもつて修正するため種々の生活を耐へ忍ぶ道を速に打ち立て新く踏んでゆかう

未だある情實販賣
横流れへ"斷の庖丁"

"決戰非常措置要綱"のうちに賣買なる一項目として"國民生活機構の刷新と食糧配給の整備配給"が强調されてゐる、しかし當局が如何に配給機構を完全整備しても銃後の生活が平和時の延長の如く我慾物慾から拔け切らないのでは全然問題にならない、今日生活物資の供給には自ら限度がある、配給機構整備とゝもに、國民の一人一人は最低の家庭生活を營む設計を樹て、必要な最少限の需給と配給機構を改善して各家庭に配給する、この双者の努力こそが初めて國民生活切下げの最低生活が確保されるのである、いま京城で食料品のうち配給を待つてゐるのは生鮮魚菜である、このうち鮮魚は配給機構の整備に目下努力中で順調に行けば三月中旬ごろには兩者の配給が確立される運びである、さて、兩機構になる迄の今日明日の状態はどうであらうか、鮮魚の現場即ち消費者の手に渡る小賣業者達の店頭から見る問題もなほ幾多あるが小賣商と一般消費者との所謂不明朗な商道徳において決戰下商業道徳、良心によつて守るべき"闇"行爲や、横流れが阻止出來る問題は殆どあるのである、まづ中央市場の入荷狀況から探いて見よう

分荷に大童の中央魚卸市場

最近の市場への鮮魚の入荷はグツと減少してゐる、これは例年ともに見る現象である、京城百二十萬の人口から割出して鮮魚消費の確保量はざつと四百五十貫を目標としてゐる、しかし輸送陣に戰力增强物資の搬送の爲めの割當を終つた今日ではこの數量は實際全くなくとも前線將兵を偲べば我慢は出來ると言ふもの、入荷量が少いからと言つて斷じて不平は言へない、ここ二三日來の入荷は二千八百貫から三千貫前後、品種は滿項の鰊、本浦の[illegible]、釜山のワカメ、北鮮の[illegible]で占めてゐる

◇西大門區(一〇)◇東大門區(一〇)◇中區(一九)◇鍾路區(一九)◇永登浦區(九)◇龍山區(一六)◇城東區(九)◇合計(一〇〇)

この數量を入荷の少い時には少いやうに多いときは多いやうに配當して廻るわけである

この入荷數量は京城府會議にどう振かれるかといふと先づ、家庭用と非家庭用の二つに大別される

家庭用鮮魚

入荷した鮮魚のうち非家庭用の數量を除いたものを一〇〇として八割が家庭用

非家庭用鮮魚

これは四種別に分れて居り、第一が勤勞用で一般食堂、料理屋、旅館、病院用で出して居り、第二が時局用で[illegible]、第三が加工用で[illegible]に振り向けられる

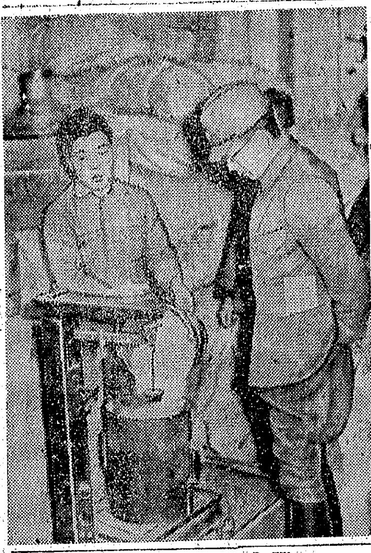
家庭用へ八割
非家庭には一割五分

家庭用と、非家庭用の分荷は右割合の入荷數量に對し家庭用が八割五分、非家庭用が一割五分となつてをり、入荷が五千貫から一萬貫の時は家庭用が八割二分五厘、非家庭用が一割七分五厘となつてゐるなどこの市場で各區に分荷する際即區別に夥多の魚を向きく仕分けしなければならないので組合員總動員であり、午前八時から仕事を開始して小賣人が配當を貰ふのは大抵正午十二時ごろとなる
◇…なほ市場への入荷が極めて少い時には七割以上が切斷される、今日の入荷はこれだけです

情實ご横流れ

かくて鮮魚小賣商は中央市場から購てられた魚を持ち歸つて店頭で小賣をするのであるが總べての問題はこゝから派生する危險が多分にある、小賣商が割當によつて仕入れた魚を持ち歸つてそのまゝ店頭に掲げ出して各區の方へ賣るものの、[illegible]配給を行ふので日によつては、鮮魚のない町會も出來るわけである。もとより魚の配給は[illegible]

は何處へ行くか—これが横流れして所謂顧客に配給と稱する部面に行くもとよりこれは配達される魚



秤にピリツト光る眼
町會ご小賣店を査察の暗行隊

闇賣買、横流し、闇取引等々決戰生活をかき亂す不德な商人を斷つて一齊に査察を行つた
これは西部經濟課長が西部經濟係長と共に二日の晝さがり[illegible]を拔打的に行つた査察の收穫である、府の西部即ち町一帶の部落を包擁する同敦義町會事務所では町會備付けの配給台帳の提示を求め、齊陽に眼くばりの配給台帳を繰つて組長さんの家へ、そこで町會台帳と組長台帳を照合して更に組長さんの連絡を求め…配給の適正はどうかと査察の眼を光らした

◇…しかしこの努力も實る方實ふ方とも明朗な氣持で相對しなかつたら仲々暗い面は消滅出來ない、今日婦人は賢いと言ふ、お客は勝手である

同窓會

府内西大門國民學校ではけふ三日午前十一時から同校講堂で第一回同窓會を開き同窓會員の指導等につき協議する

仕奉精神と我慢で押通さう

日常を返還してまで勝を叙る努力を強化しようといふ今日である、婦人が買出しに二、三時間立ち待つことは決戰下ではゆるされない

業者よ徳義心で
許されぬ闇流し賣り

千配田給部長談

惡德業者は嚴罰
小磯檢事、消費者の自覺も促す

軍援懇談會

龍山署の常時執務

特殊生査閲

新しい試驗場
父兄の理解と協力を希む

私の學校はもとく、洗頭人、年輕人半々の内鮮共學で、非常によい成績をあげてをりますが、入學した生徒は一學年になる迄には三、四學年になるといふことが常に言はれてをります...

頌の美

決戰下の雛祭
精神の持ち方が大切

三月三日は女の節句といはれ、昔から女の子のある家庭では雛壇を飾り、灯を點じて白酒を供へて雛を祭ります。

柳川後鏡

家庭問答

問 中學入学です、途器を活用したいのですが...
答 ...

ミールまぶし

材料 鯖鮨、ミール(又は海苔合粉)、醬油、砂糖
方法 魚鮨を好みに切り、醬油に砂糖を少々加へたものでサツと煮、汁氣を切つてミールをまぶします

朝日例會

晴の卒業式

爆風と彈片を無料上映

作業力推進 本劑を運用して本格決戰に勝拔く爲増産へ 豊富なビタミンB₁と消化劑の複合效果で榮養不良を佳良に精じ盛々たる精神を發揮…… ともかわ

のんで治せ 不治と諦めた眼病に光明 眼科専門薬院

京日案内 料金

賄婦 / 賣事務所附工場 / 求賄 / 看護 / 家具職工 / 女子食堂係採用 / 京城明治賣店 / タイピスト採用 / 社員採用 / 朝鮮選鑛劑 / 女子事務員募集 / 總務部要人招聘 / 合宿 / 出張所長採用 / 安田生命支店 / マンテン レザー皮 求 / 朝鮮窯代鑛業 / 俱樂部員採用 / 女子數名募集 / タイピスト / 朝鮮大同製鋼 / 日窒鑛業 / 日窒鑛業 / 守衛 / 女子事務員採用 新井藥品工業

女給 / 女子 / 看護 / 女中 / 貸事務所 / アコーデオン / 空間 / 看護婦 / 傳貰 / 男女 / 用達 / 齒科 / 求工 / 求下 / 生後七十日の男子 / 帳場 / 寫眞 / 求貸 / 女子 / 求賃 / 女中 / 賣地 / 醫師代診 / 求旋盤 / 會社 / 女子 / 林町々會 / 女子 / 賄婦 / 賣住宅 / 男子 / 女子 / 給仕 / 女子 / 齒科 / 社員 / 事務

館名	番組
浪花館	三月三日より四日間 文化映画 ニュース 世紀前 柳生重兵衛 出
和信映畫館	一日より八日 日本ニュース 爆風と彈片
新富座	三月一日、三日二日 羅美羅歌劇團 公演
城南劇場	三日ヨリ五日マデ 日本ニュース 花嫁の あきれた百萬圓 御存知東男
東洋劇場	朝鮮樂劇團 二日より三の替り
桃花劇場	三月二日より三日間 決鬪般若坂 山西の土地と民 日本ニュース
大陸劇場	三月二日より 日本ニュース 飛行機を造れ 鯨傳
第一劇場	3月1日より8日まで 藝苑座 公演
京日文化劇場	一日～八日 日本ニュース 漁電 爆風と彈片 婦球
中央劇場	一日より八日まで 飛行機を造れ 日本ニュース 鯨傳
寶城	3月2日・3日 飛行機を造れ 日本ニュース 鯨傳
京劇	二日より八日まで 文化映畫 税と生活 日本ニュース 菊池千本槍
喜樂館	三月一～六日 日本ニュース タイの密林を行く シビオネ
明治座	二日より八日迄 日本ユニース 文化映畫 税と生活 菊池千本槍
若草劇	日本ニュース 税と生活 菊池千本槍
朝日座	三月六日ヨリ 爆笑萬歲大會

一億!増産へ總突撃!
朝鮮無煙炭鑛株式會社 江西炭鑛 龍潭炭鑛
壽江西線 朝鮮商工株式會社 岐陽出張所
平南線 価格查定委員會
平南線 岐山精米所 共成精米所
江西郡物資小賣組合

第七十一回決算公告 京城電氣株式會社

外科 肛門病科 (附屬)性病科 医学博士 木村昌薰 京城府鍾路區 電話光化門③一四五二番

花柳病泌尿科 安部醫院
医学博士 美乾夏内科

技能者養成工募集
一、求人者 日本[illegible]株式會社
一、就業地
一、募集人員
一、入所時期
一、入所資格
一、志願手續
一、銓衡方法
一、赴任方法
一、入所後の待遇
清津職業紹介所

文部省推薦 鶯の凧 九日封切 全鮮順次公開 明治座 若草劇場 京城劇場
凛々しき鳳雛を送る薫陰に高く尊き慈愛の母氣この祈り—

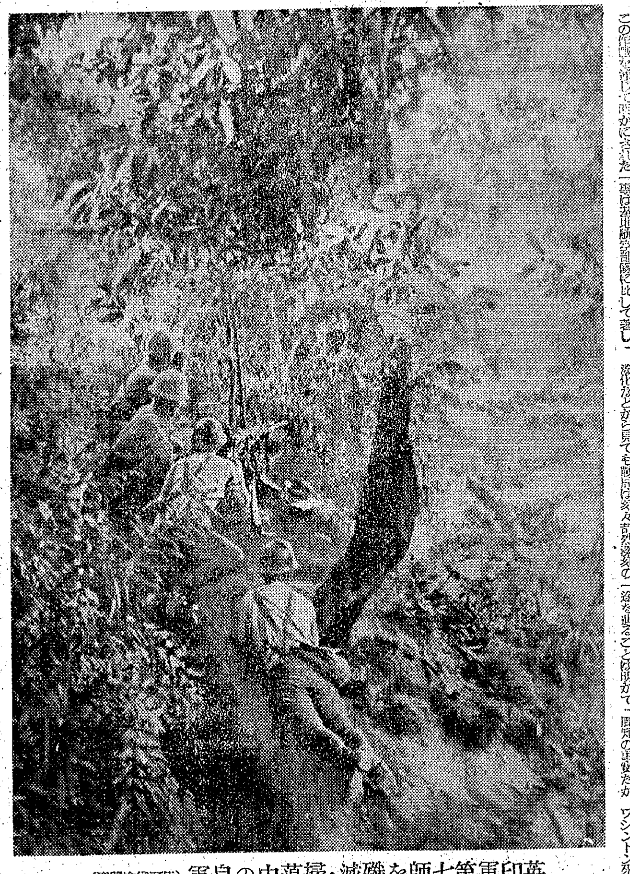
京城日報　夕刊
京城府中區太平通一丁目三十一番地　京城日報社
發行兼編輯人　高宮太平

われ等獲得せん 第三戰場の優位
敵粉碎へ航空機增强

【東京電話】ニミツツ麾下米太平洋艦隊のマーシャル作戰に續く矢繼早なトラック作戰、マリアナ作戰開始に中部太平洋戰局は俄然重大局面を展開するに至つたがこれに對する敵側の論調が聊か統一を缺いてゐることは注目を要する、すなはちある者はこれをもつて戰爭の最後段階の第一歩を踏み出したとなし、またある者は本格的決戰は支那本土に強力な要塞基地を獲得してからだと主張し、さらにあるものは今回の中部太平洋作戰においても依然として日本艦隊と遭遇しなかつたことを取上げて、これらの作戰は不成功に終つたものだと譏してゐる、しかし敵側には從來米國内に瀰漫してゐた厭戰氣運に油を注いだ結果となつたことは明かで、當局は一方において作戰の成功を喧傳するとゝもに他方においては厭戰機運の抑壓に躍起となつてゐる、われ〳〵は皇軍によつて敵の甚大なる野望を粉碎するのみである

この作戰を通じて明かにされた一事は基地航空部隊に比して著しく劣勢であるとされてゐた空母による攻擊戰法を敵が積極的に取りつゝあるといふことであり、マーシャル作戰以前の敵の空母集團攻擊を見ると空母の使命は專ら奇襲攻擊目的達成のための補助的性格が濃かつたが、最近においては空母をもつて攻擊の直接主體となしつゝあるといふことである、トラック作戰においてもマリアナ作戰においても敵は十數隻の強力な空母群に多數の艦艇を配して空母基地をそのまゝ移動させるが如き積極戰法をとつてゐる、陸戰といはず近代戰においては空中に展開される第三戰場において絶對優位を占めざる以上敵に對し如何なる作戰をも許容するの結果となるのだ

斯の如く今回の敵の中部太平洋侵攻は空母戰術に新戰法が採られた點に注目を要するが、今後も敵がこの戰法を強行し飽くまで不遜な侵攻を反復することは明らかである、特にラバウル方面における戰局の様相、支那大陸への空軍增強、北海々域における敵艦動の活潑化などから見ても戰局は刻々苛烈猛烈の一途を辿ることは明かである、從つてこの決戰に勝ち拔くためには飽くまで航空戰力の飛躍的增強をはからねばならず航空戰力が增強され、第三戰場を確保すればするほど敵の強引な大東亞侵犯の野望粉碎の公算は增大するのだ、前線の將兵はこの事態を身をもつて體驗し『一機でも多く』と第一線から一億銃後に呼びかけてゐるのだ、ラバウルにあつて日夜大編隊の熾烈な侵攻を邀擊戰闘をつづけてゐる勇士らが察細な費八百五十四圓三十四錢を集めて銃後の献納獻金として送つた事實は一億銃後を深く感激せしめ飛行機增産魂米英擊滅の決意を一層と堅めた、われ〳〵はこれら勇士らの心を心とし『銃後も戰場だ』の決意の下に第一線將兵の敢闘に應へねばならぬ


英印軍第七師團を殲滅・掃蕩中の皇軍（陸軍省檢閲濟）

米將兵の生命第一
スチムソン『非人道戰』を公言

【リスボン二日同盟】反樞軸軍が口に正義人道を唱へながら非人道的行爲に出てゐることは既に世界周知の事實だが、ワシントン來電によれば米國陸軍長官スチムソンは二日新聞記者團との會見で、非人道的戰鬪行爲こそ米國軍の戰爭方針である旨を公然と確言次の如く述べたといはれる

米國軍第一の戰爭方針は米國將兵の生命を守るにあり、これがためには物質的な損害は如何に莫大であらうとも意に介しない、さればローマが戰闘地域となつた場合同市における文化的宗教的建築物に米國軍の破壞もこの方針によつて決定さるべく、もし米國將兵の生命を守るためにこれら建築物の破壞が必要となれば米國軍は如何なる非難を受けようとも躊躇せずこれを破壞するであらう、米國軍がモンテ・カツシノ寺院を破壞したのもこの方針によつたものであり、この限りにおいて陸軍省の方針は極めて明瞭である

未曾有の損害
ノックス發言

【リスボン二日同盟】ワシントン來電＝海軍長官ノックスは二日上院陸軍委員會に出席、戰局の前途が依然困難なる旨强調、次の通り述べた

米國軍が未だかつて經驗したことのないやうなはげしい戰ひが今やわれ〳〵の目前に迫つてゐる、この戰ひで米國軍は驚くべきほどの人命の犧牲を覺悟せねばならぬ、現在既に數多い戰死傷者の氏名が各州に報告されてゐるが、ドイツの歐洲要塞に對する直接攻擊はまだ始まつてゐないのだ、イタリヤ戰線におけるドイツ軍の戰闘振りから見ても、反樞軸軍が一旦この歐洲要塞の攻擊に移つた場合の戰闘が如何なるものであるかをほぼ想像出來る

實に世界戰史の上でも『最も困難にして危險なる』戰闘が米國軍を待ち構へてゐるのだ、しかも此戰爭のあとには、さらに太平洋戰爭といふ一層困難な戰ひが控へてゐるがかゝる狀態下にあつて米國軍需生產にいささかの弛緩、遲滯の起るのを許すことは出來ず、これがためには

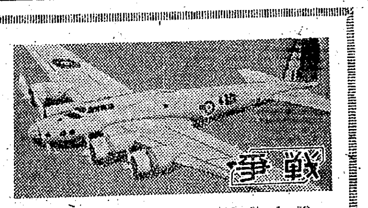
武器貸與法延長を要請

【リスボン一日同盟】ワシントン來電＝米國の武器貸與法は本年六月をもつて再び期限となるので目下下院外交委員會で審議中であるが、外國經濟委員長レオ・クローリーは一日同委員會に臨み、延長の必要を强調次の如く述べた

反樞軸軍がいよ〳〵大攻勢に出んとしてゐる、現在米國が武器貸與法の延長を行はないとすれば戰爭の重要部面は忽ちにして停滯するであらう、一九四三年の終りの三ケ月間に印度から、マラヤ山脈を越へて重慶に輸送された物資はそれ以前の九ケ月間よりも多かつた、米國がソ聯にさらに多くの飛行機、大砲、食糧を送りさへすればソ聯は新たな打擊を敵に與へることが出來よう

また米國が重慶向け飛行機の供給を增大すれば支那大陸は日本の心臟部に打擊を與へる絶好の基地となることが出來る、さらに武器、兵員を供給することによつて英國は來るべき歐洲侵攻の際の米軍の心强い伴侶となるであらう

武器貸與法の至急實施が必要である、米國は今年中に必ず、世界のあらゆる地點で、莫大な損害を伴ふ最大規模の戰闘を戰ふべく、この戰闘のためには米國は兵員、裝備、軍需品、船舶など、あらゆるものを一層多く必要とするのである



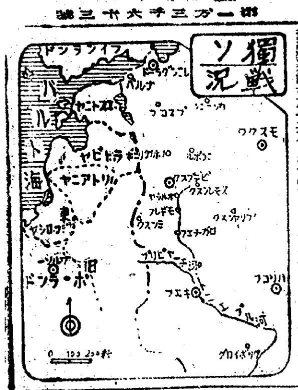
知れ、恐るゝな
航空機發達は日進月歩

◇…止まることを知らない航空機の發達振りは日進月歩といふも愚かなほどに飛躍的なものがある、殊に陸上爆擊機の大型化は相當の遠距離までしかも大量の爆彈を投下し得るに至つた、敵米國は今次大戰勃發よりいはゆる『空の要塞』と誇つたボーイングB17型を初めコンソリデーテッドB24型を、英國もまたハンドレーページ・ハリファックス、ショートスターリング等四發廿五トン級爆擊機を更に英國はアブロマンチエスター双發超重爆擊機及びアブロランカスター四發超重爆擊機の製作を開始しこれら米英の廿五トン級爆擊機は既に昨年來ハンブルク、ベルリン等のドイツ諸都市に對して史上未曾有の大規模な盲爆を繰返へしつゝある

◇……最近のストツクホルム來電によれば敵米國はボーイングB29、コンソリデーテッドB32等の新鋭超重爆擊機が或は完成に近づき、或ひは大量生產に入つたと報じてゐる、敵は大戰勃發以來しばしば反攻作戰を呼號し、これら新鋭超重爆擊機はその實數年前より設計、試作されてゐるものであり、當時米國航空誌に紹介されたもので、一昨年までに完成の豫定であつたのである

◇……傳へられてゐるB29型の性能は翼幅四三米、全備重量五〇噸乃至六十噸といはれ、八噸の爆彈を積んだ場合の航續距離は一、六〇〇粁、高度七、六〇〇米における巡航速度は四〇〇粁時、發動機はライト二〇〇〇馬力發動機四基を裝備し、プロペラは三翅ともいはれ、直徑五・一八米の四翅プロペラをつけるともいはれてゐる、また武器としては五〇粍機關砲を持つものであるといはれてゐる、從つて從來の廿五トン級の爆擊機に比して一躍二倍の重量となるのであるそれにもかゝはらず大型機として具備すべき性能改善と爆彈量の增大とについて必要なる手段がとられてゐないと觀測されてをり、われわれはかゝる超大型爆擊機の出現を毫も恐れてはならないのである【寫眞＝最近發表のボーイングB17の要塞】

泥濘將軍控へ遲々
赤軍バルト突入を焦慮



【ストツクホルム一日同盟】泥濘期の到來前にエストニヤ國境内に全面的に進出せんと焦慮してゐる赤軍は同國境の要衝ナルバ市の南方地區で新攻勢を開始したが、前線報道によれば、赤軍はナルバ河西岸に設定した幅五キロ深さ十五キロの橋頭堡により、ドイツ防禦線に猛攻を加へエストニヤの首都タリン方面に進出しようと企圖してゐる

ドイツ軍は增强された兵力をもつてこれを邀擊、目下ナルバ南方から迂回して同市西方十五キロのオーベレ周邊に進出した赤軍先鋒部隊に對し猛烈的な反擊を加へてゐるといはれる

またペイプス湖南方からエストニヤに突入を企圖してゐる赤軍は要衝プスコフに對する攻擊力を增大、最新の前線報道によれば赤軍の一部は北方および東方から同市内に突入、ドイツ軍守備隊との間に熾烈極まる市街戰を展開中といはれ、更に南方のノボソコルニキ地區では赤軍がラトビヤ國境突入を焦慮、同市西北地區で攻擊を續行中だが、豫期通りの進出には成功してゐない模樣だ

中南部に雪解け

【ベルリン二日同盟】DNB通信軍事記者ハンメル大佐は二日東部戰線の戰況を次の如く報じてゐる

◇北部戰線＝一、東部戰線における大規模な戰闘は過去數日東北方地區に移動し現在ネベリ西北カプレスカウ地區、ナルバ附近において激戰が展開されてゐる

一、赤軍はネベリ、プレスカウ公路に沿つて砲兵、戰車、飛行機の掩護下に少くとも五箇師團以上の兵力をもつて獨軍陣地を攻擊し來つたが、獨軍は完全なる防禦戰の成功を收めた、赤軍は若干地區においては局地的突出に成功したが獨軍は直ちにこれを閉塞乃至遮斷した、この戰闘において赤軍戰車廿五輛、砲十七門を破壞した、一方獨砲兵隊は赤軍準備陣地を沈默せしめた

一、ナルバにおいては獨軍部隊が成功裡に進めてゐる作戰を粉碎せんとして步兵少くとも七ケ師團をもつて獨軍を攻擊した、しかしながら獨軍砲兵隊は步兵部隊と密接に協力して赤軍を撃退し局地的突出部を閉塞した

◇中部戰線＝一、赤軍は一日も東方から步兵約五ケ師團をもつてボブルイスク市を攻擊し來つたが四時間の激戰において獨軍は主防禦線を確保するに成功した

同日午後赤軍は獨防禦線を攻擊し來り一部地區においては突破に成功したが、獨軍は直ちに右突破口を閉塞した、この戰闘で獨軍精鋭戰車部隊は赤軍戰車十三台を破壞した、敵步兵部隊の大半は戰死乃至降伏した、赤軍の損害は三百名以上に達し捕虜約二千を出し重火器多數が獨軍に鹵獲された

◇南部戰線＝一、ステンメルマン將軍麾下獨軍部隊の救出成功以來南部地區における戰闘活動は小規模のものと化した

一、ドニエプル河下流とクリボイ・ログ中間地區においては赤軍は猛烈なる砲擊にわたつて獨軍に對する重壓加重に努めてゐるが、いまだ突破作戰を開始するに足るだけの強力部隊の集中に成功してゐない

一、シエペトフカとルーツクならびにコベリの中間地區に赤軍は步兵々團と戰車部隊を集結したにもかかはらず赤軍はいまだなんら強力の成功を收めてゐない、これに反して獨軍は數回にわたる反擊によつて重要陣地を占領した、この地區において赤軍は大規模な戰闘が展開するものと豫想される、一方南方面に增援部隊を送つてゐる

一、南部及び中部地區一帶は解氷が訪れ河川及び沼澤地帶は通過不能である、一方北部地區においては溫度は零下三度乃至五度であり霧深く非常困難である

獨挺身隊活躍

【ベルリン二日同盟】獨統帥部は二日公報をもつて東部戰線の戰況を次の通り發表した

一、ロガチエフ北方において赤軍は狹隘な地區に集中攻擊を加へたが、ドイツ軍擲彈兵および戰車部隊は砲兵および高射砲部隊の協力によつて赤軍の突破企圖をすべて挫折せしめ敵に莫大な損害を與へた

一、ネベリ西北方における赤軍の攻擊はさらに猛烈化し終日に亘つてドイツ軍陣地の突破を試みたが、すべて失敗し、ドイツ軍は赤軍戰車廿五台を擊破した

一、ナルバ地區において赤軍は增援部隊を繰出して再び攻擊を開始したが、ドイツ軍は攻擊の後その大半を主要陣地に達する以前に擊退した

一、西北戰線カンダラクシヤ地區においてドイツ軍挺身部隊は西赤軍陣地に突入し、多數の赤軍兵舍大砲を爆破粉碎した

新防禦線强固

【ベルリン二日同盟】ドイツ軍當局は二日ドイツ軍が東部戰線の北部地區に新防禦線を構築した事實を指摘次の如く言明した

ドイツ軍部隊が新たに移つた東部戰線地區の新防禦線は第一回の試練に成功した、この主要防禦線はドイツ軍部隊が新陣地に分離作戰を行ふ以前に細密なる注意をもつて長期を要して建設されたものである

赤軍南部攻勢

【ストツクホルム一日同盟】前線報道によればクリボイ・ログ西南地區の赤軍はインゲール河、ドニエプル河の中間地區で新攻勢を開始し、ヘルソン、ニコライエフ兩市方面に進出しようとしてをり、目下ニコラエフ東北六十二粁のニコライエフ市周邊で激戰展開中といはれる

反樞軸空軍十四機喪失

【リスボン二日同盟】ロンドン來電＝歐洲反樞軸空軍司令部は二日次の通り發表した

約六百機から成る英國空軍重爆擊機隊は一日早朝ドイツ西南部のシユトツトガルト市を爆擊、一千七百トンないし一千九百トンの爆彈を投下した、同時にモスキート爆擊機隊は二つの編隊に分れてミユンヘン市、アウグスブルグ市を爆擊したが、ドイツ空軍のため四機を喪失した

さらに他の爆擊機隊はフランス北部オランダの諸地方を爆擊した、二日白晝米軍『空の要塞』編隊はシユトツトガルト市、その他ドイツ西南部を爆擊、リベレーター爆擊機隊はフランス北部のシヤルトル市を爆擊した、全作戰を通じ反樞軸空軍の損害は重爆十一機、戰鬪機三機計十四機である

ナルバ西岸に激戰

【ストツクホルム二日同盟】前線報道を綜合するに、バルト三國を目指す赤軍はナルバ、プスコフ、ビテブスクの三重要都市を目指して執拗なる攻勢を續け、三都市を結ぶ三百粁の戰線で猛烈なる激戰が展開されてゐる模樣で

過去一ケ月にわたつてナルバ河岸で獨軍のために進出を阻止されてゐたゴボロフ將軍麾下赤軍部隊は一日同河渡河を開始、同河に激突された獨軍ならびに西岸の獨軍陣地から射出す數百門の砲火と爆擊の熾火によつて甚大なる損害を被りつゝも同河西岸に迫り着き、目下獨軍と激戰中である、一方プスコフを繞る攻防戰も熾烈化の一途を辿り、赤軍の一隊は同市郊外に到達した模樣で、一部は市街戰が展開されてゐると報じてゐるが、これは確認されてゐない、プスコフ東南二百マイルのビテブスクにおいては北方から同市攻略を目指す赤軍部隊は同市を去る十二マイルの地點にあると傳へられる

七ヶ師團の强鐵環
ネッツノ掃蕩戰進む

【リスボン二日同盟】イタリヤ來電＝ネッツノ前線からの報道によればネッツノ橋頭堡では一進一退の激戰が續けられてゐる、ドイツ軍は廿九日朝チステルナとアプリリヤの中間の約一千數百メートルの米軍陣地正面に攻擊の火蓋を切つたが、反樞軸側報道によれば、ドイツ軍はこの狹隘な正面に約三個師團の兵力を集中して米軍の必死の抵抗を押切つて步兵部隊が敵陣地の突破を企てたといはれる

一日には米軍が反擊に轉じ反樞軸軍公報は同日中に約一千メートルだけ後退したと稱してゐるが、ドイツ軍は全長十五マイルの同戰線正面に約七個師團の兵力を配して包圍網を强化してゐるから反樞軸軍の如何なる攻擊企圖に對しても十分の對策は出來てをり、反樞軸軍はネッツノ正面にあつた米第五軍司令官中將クラークをネッツノに派遣させ局面打開を練らせた模樣である

二ヶ大隊を殲滅

【リスボン二日同盟】DNB通信社の軍事記者ブレグナー氏は二日イタリヤ戰線の戰況を次の通り報道してゐる

ネッツノ地區は過去數日間の降雨のため部隊行動が不自由なるにも拘らず、ドイツ軍は數地點で進出に成功した、アプリリヤ、アンチオ街道の兩側ではドイツ軍の有力部隊は敵の前進砲兵陣地線まで進出、重要據點數箇所の敵軍を殲滅し、ドイツ軍の特別挺身隊は反樞軸軍の主要防衛線内に潛入、敵陣所の物資を破壞、米兵に多大の損害を與へた

有力な米軍部隊が廿九日チステルナ西南方でドイツ軍に包圍されたが、ドイツ軍は一日激闘の末その一部を殲滅した、米軍は數回にわたつて包圍部隊の救出を試みたが、ドイツ軍はこれをすべて擊退し、米軍少くとも二個大隊を殲滅した

水產團體新發足へ
官民双方の準備進む

多年の懸案であつた水產團體の統合問題も、朝鮮水產業會の設立とこれに對する各種團體の吸收統合によつていよいよ決戰態勢の水產體制を整へ、四月一日新發足することになつた

これに伴つて十六日には本府は水產主任官打合會を開催、新機構に對する行政面の施策打合せを行ふほか、十七、十八日には朝鮮漁業組合中央會、十八、十九日には水產聯盟がそれぞれ總會を開いて事務的處理を行ひ、他方朝鮮水產會もまた近く事務引繼のため會合を開く等官民双方で統合に關する萬般の準備を整へる

道水產主任打合會

總督府では水產業會設立に伴ひ、新機構の指導統制を强化するため十六日水產會館に各道水產主任官打合會を開催、左記各號につき打合會を行ふ

一、道水產會解散善後措置に關する件
一、漁業組合聯合會の强化に關する件
一、漁業組合の强化に關する件

朝鮮漁業組合中央會

朝鮮漁業組合中央會では十七日に小委員會、又十八日には總會を開催し同會の解散に關する件、財產引繼に關する件、經營及び權利義務の引繼に關する件、決算報告等を附議する

國民總力水產聯盟

國民總力朝鮮水產聯盟では十八、十九兩日遞信事業會館に理事會を開催

一、國民總力朝鮮水產聯盟解散に關する件
一、財產引繼に關する件
一、經營及び權利義務引繼に關する件（昭和十九年度事業計畫を含む）
一、昭和十七年度事業收支決算に關する件
一、昭和十八年度事業實施經過報告に關する件

解散、統合手續を了する

射擊教育に幹部學生々徒
配屬將校輔佐の指導員を養成

【東京電話】學校教練の擴充に照應して射擊教育の劃期的對策が決定した、社團法人大日本射擊協會では皇國の根基を固めるため配屬將校を輔佐すべき射擊教育の幹部學生々徒を次の如き方針で全國各大學、高專、中等學校一齊に養成することになつたが、學校教練の時間に對し課外に廿時間の射擊訓練を施し射擊教育幹部學生々徒を急速に養成し、配屬將校の助手たらしめると共に、將來國軍幹部として部下の師表としての素地を附與するもので、この指導學生の選拔方法は各學校配屬將校が行ひ、五月末までに訓練を終了、優秀者を學校長が各師團へ推薦、六月中に各師團兵務部長が認定し、直ちに指導員として立つわけである

大學、高專生指導員に對しては學生指導適任章（徽章）を、中等學校生徒には射擊幹部生徒章を附與、この徽章は制服着用の場合は右胸乳下部に、教練服の場合は右下腹部物入中央上部に着け、中等學生は略章を右袖外側とし、章の上部が肩の縫目より下方百廿センチの點に着ける

指導重點は大學、高專生には實戰訓練、中等學生には基礎訓練に置くが、學校教練の實戰的風を益々促進せしめるものとして期待されてゐる

國稅代理店
府内銀行を指定

國稅事務の迅速と確實を圖り極力滯納を防止するため總督府及び鮮銀は豫て大藏省に日銀國稅代理店設置方を折衝中のところ大藏省令の改正により三月一日より朝鮮にもそれが實現した、即ち內地では日銀及び郵便局の外に各銀行が日銀國稅代理店に指定されて國稅を取扱つてゐたが、今回の省令改正により朝鮮にも同樣のことが適用され、差當り京城府內銀行が全部日銀の國稅代理店となつたので、今後國稅は何づれの銀行にでも納稅でき、かつ預金で振替拂込みもできることになつた、但し右は國稅だけに限られ府、邑、面及び道の地方稅は取扱はないのである

決戰非常措置
金融團も蹶起

大東亞戰爭を勝ち拔くために內地に呼應して五日から實施に決定した總督府の『決戰非常措置』に呼應するため、朝鮮金融團では二日午後四時朝鮮銀行會議室に鮮內各金融機關代表者の參集を求めて具體的實施方策を協議決定するが、差當り國債の受入、支拂事務を五日の日曜日から取扱ふ模樣である

貯蓄奬勵委員會幹事會

十九年度の朝鮮における貯蓄目標決定については岡村本府會計課長が二月九日東上、大藏省と折衝、大藏の目標額を決めて歸任したので八日午後一時半より本府第四會議室で貯蓄奬勵委員會幹事會を開き、岡村主務幹事より大藏省との折衝經過及び目標額決定に關する報告をなし、中旬開く委員會に具申する資料を纏める

補給に惱む
印度軍の現狀

【廣東一日同盟】印度放送によれば廿九日の中央立法會議において財政長官レーズマンは印度の軍備は次第に整備されつゝあるが、最も肝腎な後方補給問題がいまだに解決されてゐない旨、左の如く說明した

現在印度內の軍隊は約百七十五萬で、なほ每月三萬の割合で增加しつつある、船舶および空軍の擴張も急を要するが、空軍はすでに二百十個大隊の整備を完成した、しかしまた輸送力および食糧問題などは解決されず、とくに運輸の問題は緩和とともに解決を急ぐ必要がある

民需品も禁輸
英、土を高壓

【リスボン二日同盟】アンカラ來電によれば、英土兩國間作戰會談決裂の結果、英國政府はトルコ向け軍需品の輸出を停止したが、AP電報は右のほか民需物資の引渡しを停止したと報道してゐる、トルコ政府當局は未だ右報道を確認してゐないが、トルコ政府に對する高壓手段として少からず惡感に思つてゐることは疑ひない

一部では英國が右措置に出た以上トルコ政府を窮にするのを斷念し、東南歐洲に對する別途の作戰を企圖してゐるのではないかとの見方も有力である

軍需品輸送再開か

【リスボン二日同盟】アンカラ來電に依れば軍事會談の決裂後英國政府は二月十二日以來トルコ向け軍需器材の輸送を停止め、過去二週間全然軍需品の輸送が杜絕したと傳へられる、但しUP電報は確實な情報によれば英國政府は近く軍需輸送を再開するといはれる旨報じてゐる

長距離砲活躍

ドイツ出擊長距離砲隊はネッツノ、アンチオ地區の敵船舶場に引續き痛擊を加へてをり一日に五千トン級貨物船一隻を擊沈し、他の商船五隻合計約二萬トンを大破せしめた、ドイツ空軍は五千トン級輸送船一隻を炎上せしめ、また他の貨物船三隻にも爆彈を命中せしめ大損害を與へた

【ベルリン二日同盟】獨統帥部は二日の公報をもつてイタリヤ戰線の戰況を次の通り發表した

ドイツ軍長距離砲はアンチオ港の敵輸送船一隻を擊沈し、他の敵船に命中彈を與へた、ドイツ軍爆擊隊も同樣アンチオ港の敵船舶および揚陸地點の攻擊を續行し軍隊輸送船一隻五千トンに大損傷を與へた

市中央に巨彈
ロンドン猛爆

【ストツクホルム二日同盟】獨空軍快速爆擊機隊は二日未明またも大擧ロンドンを襲擊したが、當時英本土上空は獨空軍に絶好の天候狀態で目標を的確に把握することが出來、獨空軍は猛烈なる高射砲火を冒して同市中央部に多數の高性能爆彈を投下したといはれる、右に關しロイター電報は今回の襲擊が從前に比し最大強力なものであつたことを指摘、次の如く報じてゐる

ロンドンの一地區には高性能爆彈が投下され家屋や商店が破壞し死傷者を出した、今回の襲擊はこれまでのどの襲擊よりも強力なものであつた

艦船四十隻
獨空軍二月戰果

【ベルリン二日同盟】ドイツ軍當局は潛水艦隊の擧げた戰果發表に引續き二日さらに二月中におけるドイツ空軍部隊の反樞軸艦船に對する戰果を次の通り發表した

擊沈　商船四隻（合計一萬四千トン）▲大破　巡洋艦一隻、驅逐艦三隻、小型艦艇二隻、貨物船および輸送船卅隻（合計十七萬八千トン）

ヒ總統、クロアチヤ首腦と會談

【ベルリン二日同盟】總統大本營は二日公報をもつて次の如く發表した

ヒ總統は三月一日總統大本營においてクロアチヤ首相マンデイク氏および外相ならびにペリツク氏と會談した、右會談にはリツベントロツプ外相も列席した、會談は友好裡に行はれ兩國協同の問題ならびにクロアチヤ國內の問題につき討議した、總統の歡迎會後クロアチヤ國首相ならびに外相はリツベントロツプ外相と會談した

近く米英會談

【リスボン二日同盟】ワシントン來電＝米國務次官ステチニアスは二日の新聞記者團會見で米英兩國會議の開催を次の如く發表した

米英兩國政府は直接作戰と關係なく兩國共通の問題協議のため會議を開催すべく準備を進めてゐる、この會議では西半球における石油資源問題も協議されることとならう、會議の開催地は未だ不明である

但し會議は多分ロンドンで開催される模樣で米國務省代表が近くロンドンに向ふ筈といはれる

消息

◇相良春雄氏（西大門刑務所長）新任挨拶のため三日來社
◇藤田一郎氏（朝鮮織業會長）二日午後六時四十分發歸京
◇中村一夫氏（同社長）同上
◇人見次郎氏（朝鮮無煙炭會長）四日朝入城當分滯鮮豫定
◇古庄逸夫氏（前朝鮮無煙炭社長）三日午後六時四十分京城驛發退鮮、東京都杉並區荻窪三ノ五九へ歸居

中風・高血壓・神經痛
原因を明にした
今津博士の素晴しい研究
不治でない

（研究中の今津博士）

漢取扱で有名な今津博士は醫學博士と共にこの病氣の原因を徹底的に研究した結果、酒煙草、淋病、梅毒、便秘、偏食、腎臟病、糖尿病、心臟病、胃腸病、冷込、過勞、心痛、大ケガ又は大患、驚愕などで血液が濁つて循環が惡くなる爲起るので、血液の混濁を除去して淸淨にし循環を良くすれば治る。決して不治でない事を確め、苦心の末、織物ホルモンから强力な淨血劑を發見し、前記の患者に分劑してその服用とリキシンの併用で治り難い病氣を良くし全國各地の同病者から非常に感謝されてゐる。
肩こり頭痛耳鳴り、目まひ動悸、ふらく卒倒ヒキツケ、手足腰の痺みハレふるひ、便秘不眠、息切れ胸苦しさ、言語不明、手足シビレ、動脈硬化、高血壓、半身不隨、舌もつれ等の人は早く病用ある
今津研究所へ遠慮なく行くか本紙を切取り症狀に印をつけ手紙で急ぎ申込まれよ！本人の病氣と病狀に適した淨血療法養生法を教へて治り難いこれらの病氣も質問し同研究所博士獨特の研究と多數の尊い實驗の結果に依り早く快方に向くなど新しい貴重な醫法でこの病氣に惱む者にこの上ない福音である

強力 ルーベリ
優秀二基性アミド製劑
化膿症にも
淋病の內服短期治療法
從來の療法では根治困難な頑症も明快且つ短期に治療目的を達し得
强力ルーベリは內服後數日にて殺菌、止痛、消炎の治療效果を表はし然も副作用殆どなし
製造發賣元　大阪南久太郎町　竹村製劑所

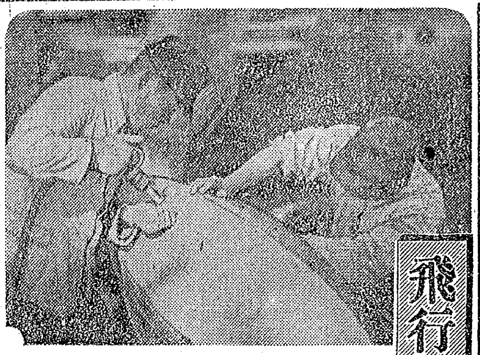
かゆい皮膚病には
セーキン
水虫・いんきん・たむし
くさ・ひぜんに特効

虫を下しませう！
丈夫そうでも蟲が居る每月マクノールをのみませう
マクノール 錠

疲勞の防止と恢復に
ヒロポン 錠
製法特許
適應症
一、過度の肉體及び精神活動時
二、徹宵、夜間作業、その他睡氣除去を必要とする時
三、疲勞、宿醉、乘物醉
四、各種憂鬱症
大日本製藥株式會社

催乳
ビオレバー（錠劑）
母乳不足や貧血虛弱に
授乳婦ビタミンLの母乳分泌促進と肝臟實質（ヘモグロビン、ビタミンB・D・E等の强化的造血强身作用あり
東京神田　大木合名會社

飛行機だ！翼だ！
航空廠に戰ふ工員を訪ねて（上）



【海軍〇〇航空廠にて 荒井特派員發】この一機が敵を屠つ、今一機は、我が海鷲の墳墓となつたのであつた、今ぞ一億國民の脳裡には前線もなし銃後もなし、ただあるものは飛行機増産の義務のみが現實の問題として大きく課せられてゐるのだ、日夜を分たず米英を撃碎する飛行機の生産は既に今議會における東條首相の言明によつて昨年度の倍數を越えたことを國民は識つた、更に、明年度はその五、六倍にも達しようとの鍵は如何に敵米の胸をひしいだことであらうか、飛行機こそ本大戰の雌雄を決する近代武器であるとすれば、その増産こそ輝かしき勝利への約束なのだ、だが坐してゐては一機の増産も不可能である、老いも若きも男も女も今ぞ全力をつくすべき時なのである、半島の〇〇に建設した海軍〇〇航空廠には今〇〇名の半島の若き男女工員がマーシャルの仇を討つために文字通りの血戰製作を續けてゐる、ではその現場を綴つてみよう【寫眞、記事我鷲海軍航空廠＝少年工員の勵み】

海軍〇〇航空廠は半島が持つ最も優秀な軍用機製作所である、こゝに働く工員中には多くの半島青少年男女が交つてゐる、海軍規律の下に自ら進んで工員となつた少年工の瞳には科學兵器と取り組む大いなる誇りと共にあつぱれ軍人魂に透徹した精神しき表情がありありと浮んでゐるのだ、片上主計大尉の紹介で會つた總務部西岡大佐はこれを簡潔にかう説明した

『少年工員は全部國民學校から採用してこゝで育て上げたのです、皆こゝを母校だと思つてゐる、この工員には一人も缺勤を嫌ふ者は居ない、喜んで四時間以上の延長勤務に欣々と從つてゐるのだ、朝鮮人は從來勞苦を好まぬ風習があると聞いたがそれはかへつて統督における指導者側の方にあるのではないか、昔は如何に賃銀を貰つて服裝は非常時型でも前夜料亭等でドンチヤン騒ぎをやつたとあつては非常時的服裝も何にもならない』

響け鎚音・敵陣へ
増産に精魂打込む若人

チクリと一針、ある隊員へのお灸振りも鮮かに隊長は語り續ける『飛行機は決して重工業に屬するものではない、いはば輕工業の種に入るべきもので、從つて婦女子の手でも結構生産することが出來る、であるから今後はどしどし婦人の進出を望んでゐる從來半島の婦人は勤勞を嫌ふ氣味が多かつたが、この頃では全く皇國臣民としての氣構へが出來て若い女學生が相當志願してくるやうになつた、そしていづれも事務方面より現場を望む傾向が多くなつたのは洵に嬉しい現象として私は中等以上の婦人がこゝを希望して來ることである、ある女學校では全校生が醵金を捧し、彼女らの希望を遂げさせてやるつもりだといふ、現在では婦人工員に廢業はやらせてゐないが、ゆくゆくは通勤上の安全を圖つた上で男子のやうな廢業も考慮してゐるとのこと『まあ私の話よりも實際を見て下さい』

片上主計大尉の案内で續々と鋲打ちの響く飛行機組立工場へ急いだのであつた、大尉に替つて紅顔の大坂技術少尉の案内で少年工が必死に作業してゐる現場を見る『これは〇〇機の發動機取附です皆少年工がやつてゐますよ』見よ、そこには〇名の少年工員が額に汗してわが新鋭機の心臓部へ鐵火の魂を凝らしてゐるのだ、晝食休みも僅か廿五分間、それも惜しく少年工達は、たゞ増産の一路に精魂を傾けてマーシャルの仇へ突撃してゐるのだ、翼部の組立、機關部覆ひの鋲打作業、脚部〇〇〇の接合作業など、われくの目には驚異である鋲作業も少年工には毎日の仕事なのである『あゝその打ち方はいかんな、それをかうやるのだ』案内の大坂少尉は兄のやうな慈しみで傍らの少年工へ作業の指導をする、歌々訂正した個所へ再び向つた手は機敏に動いて行く『どうです可愛いでせう、はじめは泣くかと思つたが、却々しつかりしてゐますよ』老練な一兵曹長は抱きしめたいやうな愛撫を目に浮べて少年工の傍らに立つた、指導する者、される者の交流する温かさの中に、明日の勇士へ送る空の攻撃機は次々と製作されて行くのだ、誰も彼も一心に製作へ力を注ぐ、同工場を過ぎて女子工員の働く〇〇工場へ行けばそこには又〇〇名の若い女性があつた、母親に見せたいこの眞摯な翼の布張り作業に從ふ熱心な姿が、額の汗を拭ぐ間もこの女性達の手は休みなく動いて行く、女子特有の繊細な針の進行に見るく銀翼はあの美しい流線型を描き出して行くのだ、女も働ける飛行機工場、初めて觸つた女子勞務員のこの職ひ、こゝにも銃後の職域はあるのだ、かくて〇〇、〇〇の兩精指作業場を過ぎて別棟に入ればそこにもまた女子の働く作業場があつた、男子に劣らぬ女子の鋲作業こそ婦人進出の特技といへよう、一鋲一點もおろそかにせず細心の注意力を以てサツと白紙に島口のシミを引いて行く見事なわざはいつの間に會得したことであらうか

『こんなことは毎日のことですよ、今日は何か別におかしいものはやつてゐないのです』と平然と説明する大塚少尉はむしろ不審げな顔をするのだ、この工場からこの職場から將來は必ず世界一の優秀機が生れるであらう、規律ある訓練と鍛錬した精神指導はこのやうに女の働く道へ逞しい鍛錬を吹きこんでゐる

壯絶・前線の激闘再現
第卅九回陸軍記念日の各種行事

撃ちてし止まむ、造れ、送れ、勝ての決意も高く熾烈なる血戰のさ中に迎へる十日の第卅九回陸軍記念日には、銃後はあげて日露戰爭當時の擧國一致の戰勞に學び、必勝の信念を堅持し困苦缺乏に耐へ烈々たる闘志をもつて航空機、船舶、食糧の飛躍的增産に突入、戰力の増強を図り決戰生活の各種記念行事を行ふが、この日午前十時から龍山練兵場で在城部隊、府内各中等學校以上の學生、團體、鄕軍、國防婦人會、機械化國防協會等が參加して戰車、航空機も出動、前線の激闘を再現、壯絶なる一大攻防戰を展開、近代戰の様相をまざまざと銃後に灼きつけ、日露役先人の偉功を偲ぶ

なほこの日板垣軍司令官は決戰増産に日夜奮闘する朝鮮の鑛山工場の幹部約二百名を招待、攻防演習の參觀を願ひ、次いで指定工場における戰時衣料服に案内、午前十一時から官邸にて兵器野營を開き不斷に戰力擴充精神の擁護に挺身する勞を犒ふと共に一だんの奮鬪を激勵し、軍事映畫を觀覧させ賛激交流一日を必勝の軍國意識で固める

祈る赤子十四萬七千餘
二月中の神宮參拜者激增

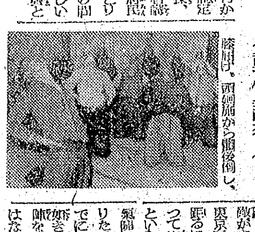
目覺しい戰局の推移に沿ふ國民の皇國護持を祈る熱誠は今や神宮參拜へと向ひ、銃後の民草が"祈り"の誠心を籠めて朝鮮神宮の玉砂利を踏む数は二月中にぐんと増し、總計十四萬七千五百廿二名の多きにのぼり一日平均五千八十七名強、これを前年度に比べ一萬百九十五名の增を示して、銃後の熱誠の心が如實に反映してゐるが、內譯は次の通りである 學生三萬九千六百七十六名、軍人一萬三千五百十二名、一般三萬千八十三名、個人六萬三千二百五十名で二月は個人の參拜が目立つて激增した

貯蓄へ只一路
三月の府民實踐項目

熾烈の度を増す決戰三月の國民總力京城府聯盟の實踐要目は、貯蓄といつた十八年度最後の國民貯蓄目標額一億八千七百萬圓突破を目指す百廿萬府民の貯蓄戰闘の奮闘に對し、現在京城府は十八年度の割當額の約八割は消化したが二割の約五千七百萬圓が殘つてゐる、今一歩の頑張りで完遂出來るか出來ないかの瀬戸際に應へることが出來ないのだ

大京城の護りを攻へばつけるなら、敵は本土に迫つてゐる、正に常在戰場だ、米英擊滅はかけ聲ばかりでは果されぬ、實行だ、決戰非常措置の斷行により高級享樂面も廢止される今日、これが最後とばかり如何に花町の地まで百圓札が降るやうにばら撒かれてゐるといふ、こんな非國民があつてよいか、さあお互に最後の頑張り、本年度京城府國民貯蓄目標額一億八千七百萬圓突破に必勝街道を邁進しよう

易い家族體操
逞しき八動作講習會



膝屈げ、兩腕前から側後倒し、

銃後の決戰體力向上はこれで行かうと、京城府社會課體育係で制定した誰にも出來る愛國班體操（一名家族體操）の町會指導者講習會が三日午前十時廿分から府民館で行はれた、老若とりまぜ百餘名の熱心な町會役員の出席を得て北尾體育主事の逞しい指導が館いつぱいに響くかけ聲とともに躍動する

鐵壁期す防空布陣
各道警備課長打合會開く

何時、如何なる敵の空襲をうけるか知らない緊迫した戰局に際し、總督府では十三、四兩日各道警備課長打合會を本府内で開くことゝなつた、東京では僅か二千三百六十六浬を距るに過ぎず、しかも敵は後にとつて空襲が最も憂慮されてゐるといふ現實、措置の前には必勝の氣魄に燃える銃後の鐵壁を愈々固くしてゐるが、これに當局もすでに"敵機來らば來れ"と鐵血の布陣を固めてゐるが、しかし一部にはなほ完璧ならざる部面もあるので、この打合會には地下警務局長以下三輪事務官、都市課、聯關局外務局が出席、消防、救護、避難、消火に關する防空態勢、この外さきに改正された防空法をめぐる對策を検討打合せをなすもので、この打合會の結果により、半島の防衛陣は愈々重強化されるものである

戰力增強に資さんと正午散會した

なほ同講習會は四日間に亙り行はれる【釜山】往時する愛國班訓練の實施を期した

群山造船鐵工
發展的に解消

【群山】長項地區に於ける造船業統制に則つてさきに鮮洲朝鮮造船の統合の計劃をなした群山造船鐵工會社では廿九日午後二時から同社會議室で總會を開き解散決議をなした

道聯部長會

【全州】全北聯盟では米英擊滅の活潑なる國民總力運動の展開を期すべく一日午後一時知事室で部聯盟長會を開き十九年度の愛鄕組織成方針その他重要事業の協議を遂げた

豆增産戰士

【茂山】邑內南國民學校では決戰下戰力增強に全校の生徒を打つて一丸としてこれが指導に奮闘に努力してゐるが、增産豆戰士として最近三年生以上の生徒は家に歸つて叺を編つたり松炭油材料を採取したりして大人に率先模範を示した

不在地主の認定委員會

【光州】決戰下食糧增産の一大要因の負荷する食糧增産隊の重大な使命達成に萬全を期するため今回水利組合區域內不在地主の農地を水利組合に委託管理することになつたが光山郡では左の日程で不在地主認定委員會を開催した ▲松汀里水利組合三月一日▲大村水利組合三月二日

東中で馬事訓練

【光州】東中學校では光山郡の斡旋で軍馬三頭を購入、馬事訓練を行ふことになつた

引寄せて一發必中
印緬國境前線 猛虎退治の武勇談

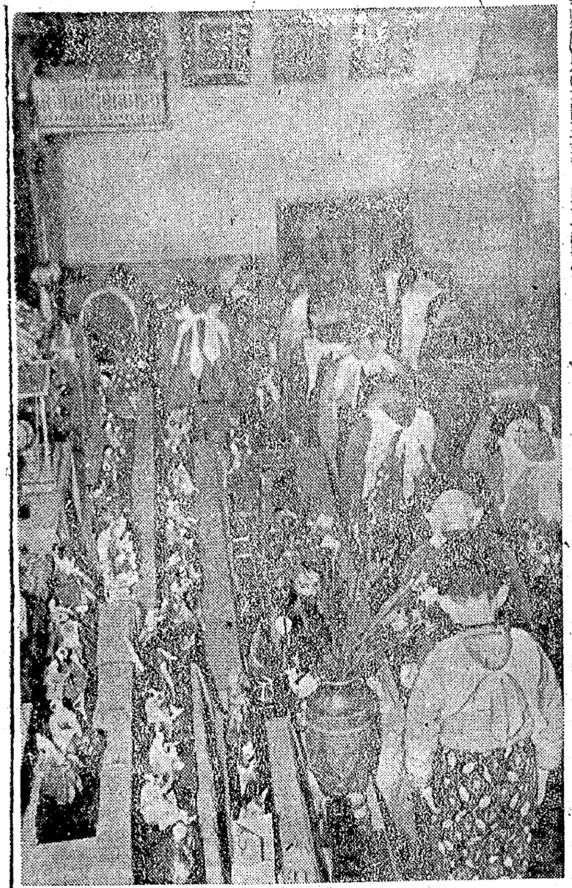
【北部印緬國境フーコン戰線にて陸井陸軍報道班員發】米英聯合の敵を前に、わが新鋭のビルマ前線で最近勇士達の話題を賑はしてゐる『虎退治』の武勇談二ツ

その一 原始未開の濃密ジャングル河畔でも松明をかざして歩かなければ危ないが約や山猫などにいつ襲はれるかわからず原地人カチン族でさへ恐れてゐた程の大密林地帯で敵機どもはこの密林內を逃げまくり潛んでゐる、わが道路作業の〇〇隊が去る〇日の夜營〇〇附近で作業してゐる所へ猛獸の咆哮を挙げて不意に虎の咆哮が湧き起つた、密林中の原地人は身を震はして逃げようとして『一』がな、己が射殺してやる』と銃を握つて突撃獣を睨いたのは〇〇隊の一〇名射手と目されてゐる白石伍長だ、わざと虎附の焚火を小さくして距離が近付いて來るのを待つた、十メートル、五メートル位に迫す後目にもはつきりと青く光る虎の眼玉が二つかさかさ樹間から樹間を搖れ聲に接近して來るのが見えた、だーんと一發ここぞと狙ふ至近距離に引寄せてから第一發を放つた、續いて第二發第三發が眞黒な巨軀を撃いた、最後に一際凄慘な密林の咆哮を上げると虎はその場にどうと倒れてしまつた、その虎の目原地人達は『恐れ多いビルマ虎の獸王』が名付けた『カウンデ・マスター』を一發の下に射止めた虎は約八尺、重量は

その二 チンドウイン河上流地帶では夜の歩哨に猛獸除けの焚火をすると敵兵にわが位置を察知されるので、歩哨は常に銃と一緒にいつでも點火出來る石油を浸込ませた松明を握つて立つてゐる或夜山田與夫一等兵が立哨してゐた時突然虎の咆哮が身近で聞えた同一等兵は用意の松明に點火し咆哮のする方向に火焔を振廻した、虎は餘程久しく山に飢ゑてゐたものらしい火を見ると反つて一段と高く吠えながらさがさと足早く近付いて來る、樹々の繁みが深くて姿は見えぬ、不意に大きな風の搖りが來たと思つた途端虎は一等兵の右足膝から一とかぶりの際を咬ひ取つた、激痛にも屈せず一等兵は右手に振りかざした松明でなほも襲ひかゝる虎をやたらに毆りつけた、膝と脛に一ケ所づゝ嚙み傷を殘した虎はひとまず退散した、それから一時間餘も經つてから又しても先刻と同じ虎の咆哮が近付いて來た、微傷に心はやる一等兵は戰友の止めるのも聞かず血に染つた假繃帶のまゝ銃を握り數名の戰友と部刀、血痕を辿つて再び歩哨線に忍びよつて來た虎を數發のもとに射殺した、身長ざつと一メートル半、これも二百キロに近い巨虎で、毛皮を取つた後は戰友と共にジャングル名物『虎のすき燒』で舌鼓を打つた

兵隊さん有難う

けふ三日は嬉しい雛祭、小さなモンペに白い脚袢で可愛いく雛ちやん達の頭のなかにちらつとひらめいたのは兵隊さんの姿であつた、嬉しい雛祭も飾られたお雛様の前でほころびしいけふの雛祭を迎へたのも兵隊さんのお蔭です、と小さな胸にも感ふ子供の意識は強かつたお雛様よりも先づ兵隊さんに感謝しよう、と床間に掲げられた



けふ私達の雛祭り

山本元帥の寫眞に一同整列して敬禮した、そして熱沙を蹴り、怒濤を乘り越えて勇猛を嘯いた米兵や英兵の鼻を明かし殲滅の武勳を擧げ戰斗する前線將兵の武運長久を祈り一命を大君の御前として散華した英靈に黙禱を捧げるのだつた、敢ふ銃後の務めは厳しいながらも感謝が溢れてゐる『兵隊さんを代つて可愛いて人形に話をもたらす』といふ鍛寺の雛壇の前から除はる雛壇も今年はことのほか質素な飾りで雛ちやん達は一様に『私達も頑張つて米英を討ちませう』と小さな手を合せて祈るのであつた

王子製紙工場建設

【木浦】王子製紙では木浦に全南工場建設事務所を設け工場建設に取り掛つてゐるが工場敷地（約萬坪）は既に買收、設計測量も終り次第着工、九月操業開始の豫定であるが同工場は濟州及び玉堆山加里鑛石より加里を製造、戰力增强の一役を擔ふものである

一齊に休業
鍾路區の亭 樂面協議

決戰非常措置の一環として鍾路署管内の料亭、カフエー、バー、食堂、おでん屋など五十を數へる鍾路警察署管内の料亭、和洋食堂組合では、朝鮮組合長以下約廿名の組合員がけふ鍾路署に出頭、非常措置に呼應しこの試練の時に協議したが、カフエー、バーは業態轉換、鍾路署員を始めとして女給總數一九四名、その從業員九四名となつてをり、當局の十階に一人當といふ女給仕人の許可案にはその全部がはみでてゐる實情にあるので、必然的に一團は一齊休業と不穏りになつた、これに關して組合員側としてはこの際過去の積極的協力の證として營業面花しい個の蹟なる收場としようとの意向が濃厚であるが從業員に徹底的なる切替を行つて建物の利用、從業員の生活問題などを勘案して慎重なる指導を誠するものと思はれる

なほ大觀園を除く悦賓樓、第一樓、大陸園、雅敍園、泰和館の支那料理店は休業届を出すこととなつた

生産戰略
戰力增强ご 半島の地下資源

タングステン

タングステンの原鑛の代表的なものは黄海道の百年（小林鑛業）、その他江原道の上東（日本鑛業）があり、十八年度の生産實績は上半期に於て新規施設の完成が遅れたが下半期に於て豫定を突破することを得た、しかし十九年は本年度計畫の約二割増の増産が要求されて居り、それは勝ち抜くための至上命令である、尤もこの數字は大體に於いて可能とは見られるが、現在稼行中の鑛山は最早、相當に開發され、いはゆる老境に入つてゐるのが多いので明後年以後のために何らかの新鑛床が必要であらう、重石はタングステン鑛は重石であり、即ち支那が最大の産地であり次いでビルマとなつてゐる、即ち支那は世界産額の四十六%、ビルマが十五%を占めてゐるが、敵米もこれ等を併せては廿%の産出量をもつてゐるのである。不幸にして日本內地には産出しないので現下の情勢よりしては朝鮮の開發增産が急務であり、需要の九十%は鮮産に依存してゐる状況である、其用途はといふに稀融點の高いところから耐熱用に使はれるが特に合金用、即ち特殊鋼に必要で硬度と耐摩擦に耐へる高速度鋼として砲身には勿論、軍艦や戰車の裝甲板には絶對不可缺のものである、朝鮮に産する重石は鐵滿俺重石と灰重石の二種であるが特に合金用、即ち特殊鋼に必要で、ビルマに進出、かの地の開發に當つてゐるので、すでに鮮內での發見は困難ともいはれるが、まだまだく朝鮮も見捨てたものではあるまい、積極的探鑛が行はれるべきであらう

商況（三日）

【證券】閑散 動機待ち

前場 市場內外をめぐる諸材料は買控材料を目立てるやうな具體的なものがないため、一般仕手は依然見送りの態度續け、場の閑散の度合ひは益々深まつて來た今後も當分は閑散不振を免れないものと見る向きが多くない、なほ長期市場は高周波五十三圓見當、遊仙五十八圓五十錢、小林六十二圓八十錢、朝陽廿七圓八十錢と殆ど釘づけ商状を示した

後場（總らず）新規商内は引續いて見送られ、諸株とも殆ど變らずを示し、場閑散

三國石炭割當は一對一　三國石炭は七十九圓八

十錢と市場上場以來の新高値を示現、その勝勢は瞬間し難いものがある、現境不振にも拘らず、同株の勝因は增資認可接近にあるやうであるが、增資額は九百萬圓、正式認可は三月十五日、第一回拂込は五月一日十二圓五十錢を徴收、割當は三國のプレミアム付で一對一（舊株株式は功勞株四二萬株、特殊會社方面へ四萬株割當）期當は現行九分配當配當、一般公募は行はぬ模樣である、當社の事業計劃は着々進捗中であるが、今後満州國內主要工場の擴張新設に要する資金は當分株主資本によらず借入金によつて賄ふ筈である、なほ當社は今般資本金五十萬圓の子會社を設立、海上救援事業にも進出することになつた

現株仲值（三日十一時現在）

銘柄	值	銘柄	值	銘柄	值	銘柄	值	銘柄	值
鮮內株		北鮮新	[illegible]	朝鮮拓	[illegible]	倉紡新	[illegible]	鐵道工	[illegible]
銀行株		同新	[illegible]	同	[illegible]	同	[illegible]	昭和飛	[illegible]
鮮銀	[illegible]	京電	[illegible]	東拓	[illegible]	帝人	[illegible]	同ディ	[illegible]
同新	[illegible]	同新	[illegible]	朝鮮工	[illegible]	同新	[illegible]	同新	[illegible]
殖銀	[illegible]	西鮮	[illegible]	不二興	[illegible]	日毛	[illegible]	東洋ベ	[illegible]
同新	[illegible]	同新	[illegible]	朝鮮紡	[illegible]	同新	[illegible]	日ビス	[illegible]
商銀	[illegible]	鑛業株		大陸紡	[illegible]	鐘紡	[illegible]	鶴羽船	[illegible]
一銀新	[illegible]	小林鑛	[illegible]	朝鮮窯	[illegible]	北海炭	[illegible]	國際船	[illegible]
二銀新	[illegible]	同新	[illegible]	朝鮮電	[illegible]	昭和電	[illegible]	東洋船	[illegible]
三銀新	[illegible]	無煙炭	[illegible]	朝鮮新	[illegible]	石原	[illegible]	川崎重	[illegible]
府銀	[illegible]	同新	[illegible]	大陸化	[illegible]	昭和新	[illegible]	同新	[illegible]
朝興銀新	[illegible]	三陟	[illegible]	湖南鐵	[illegible]	新興	[illegible]	石川島	[illegible]
一信託	[illegible]	日マグ	[illegible]	湖南新	[illegible]	北樺太	[illegible]	三菱重	[illegible]
信託	[illegible]	製鐵	[illegible]	華北鑛	[illegible]	昭和鋼	[illegible]	同新	[illegible]
無盡	[illegible]	遊仙	[illegible]	滿洲鑛	[illegible]	化學工	[illegible]	電氣化	[illegible]
朝證	[illegible]	鳳泉	[illegible]	東拓鑛	[illegible]	日窒	[illegible]	同水	[illegible]
紡績株		三國	[illegible]	東邦	[illegible]	同新	[illegible]	同新	[illegible]
朝紡	[illegible]	朝陽	[illegible]	同新	[illegible]	電化	[illegible]	鐵鋼株	
同新	[illegible]	大東鑛	[illegible]	大同鑛	[illegible]	同新	[illegible]	傍業新	[illegible]
京城紡	[illegible]	同新	[illegible]	中央鑛	[illegible]	同新	[illegible]	東海電	[illegible]
朝鮮織物	[illegible]	重工化學		大昌鑛	[illegible]	東工	[illegible]	關西電	[illegible]
運輸株		高周波	[illegible]	湖內地	[illegible]	大同鋼	[illegible]	製紙株	
朝鐵	[illegible]	鐘工新	[illegible]	鐘紡株	[illegible]	小島鋼	[illegible]	王子紙	[illegible]
一新	[illegible]	弘中	[illegible]	日東工	[illegible]	ニッケ	[illegible]	日清粉	[illegible]
二新	[illegible]	同新	[illegible]	日滿紡	[illegible]	神戸鋼	[illegible]	同新	[illegible]
京春	[illegible]	朝鮮機	[illegible]	日紡新	[illegible]	昭和鋼	[illegible]	日本粉	[illegible]
京南鐵	[illegible]	國產車	[illegible]	人絹株		日立	[illegible]	諸株	
朝京鐵	[illegible]	朝石油	[illegible]			日輕金	[illegible]	三菱鑛	[illegible]
陸海運	[illegible]	同新	[illegible]			石井鐵	[illegible]	同新	[illegible]
朝郵	[illegible]	北鮮紙	[illegible]			同新	[illegible]	捕鯨	[illegible]
同新	[illegible]	東亞證	[illegible]			日電新	[illegible]	同新	[illegible]
電氣株		朝鮮理研	[illegible]			池貝鐵	[illegible]	三菱本	[illegible]
						製鋼	[illegible]		

東京長期

銘柄	前先寄	引	後先寄
富士新	三六・二	｜	[illegible]
帝人	四二・五	｜	[illegible]
倉絹	｜	｜	[illegible]
倉紡新	四八・五	｜	[illegible]
東亞麻	[illegible]	｜	[illegible]
麻糸紡	一〇三・五	一〇三・〇	[illegible]
滿蒙新	｜	｜	[illegible]
日精工	一〇四・〇	｜	[illegible]
日華紡	八〇・九	[illegible]	[illegible]
大阪工	七七・〇	七六・九	[illegible]
不二越	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東洋ベ	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日本製鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]
砂鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]
昭和電	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐵興社	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大同鋼	[illegible]	[illegible]	[illegible]
特殊鋼	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鋼管	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東製鋼	[illegible]	[illegible]	[illegible]
石原	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三菱鑛	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北文	[illegible]	[illegible]	[illegible]
兵器	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小松	[illegible]	[illegible]	[illegible]
神戸鋼	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三重工	[illegible]	[illegible]	[illegible]
函館	[illegible]	[illegible]	[illegible]
浦賀	[illegible]	[illegible]	[illegible]
石川新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿工業	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日産新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日窒	[illegible]	[illegible]	[illegible]
昭和鋼	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日曹	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東洋ベ	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三菱電	[illegible]	[illegible]	[illegible]
古河電	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日曹達	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東曹達	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日石	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪長期

銘柄	前先寄	引	後先寄
帝人新	六〇・六	｜	六〇・六
神戸鋼	八三・八	｜	八三・八
三重工	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
不二越	九一・一	｜	九一・〇
東洋ベ	六〇・九	｜	[illegible]
日華紡	七〇・九	｜	七一・〇
大阪工	七七・〇	｜	[illegible]

朝鮮長期

銘柄	前當	中	先	後先
高周波	三二・二	[illegible]	[illegible]	[illegible]
遊仙寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小林寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小林引	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝陽寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝陽引	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

清算出來值（三日）

銘柄	値
周本	[illegible]
不二越	[illegible]
昭和電	[illegible]
塩糖新	[illegible]
窒素	[illegible]
日鐵	[illegible]
日滿新	[illegible]
滿業	[illegible]

海への書【4】
李無影（作）鄭玄雄（繪）

風變りの男（四）

『娘のどこが變つてるといふのか』

『でもさうぢやないの。今時、一生水に入らない男があるのに、少しも珍しがらないで何かかう、當り前、猶屋をのまない牧師さんにでも會つたやうな顏をしてゐられる――そこがお兄様の變つてゐらつしやるところよ』

『ふゝん』

『ふゝんぢやないわ。だつて、さうぢやないの。一生絹靴をしない女がゐても珍しがるのに、一生水にはひらない男がゐるとしたら誰だつて眺めりますわ』

『それもさうだな』

『さうだなどころぢやないことよ』

街はちやうど、宵の口にはひりかけるところだつた。灯影が、乳色の薄暮の夜霧の中にとうるんでゐて、人通りも途絶えてゐた。

『ねえ、話してよ、お兄様』

女――雁子は、兄の腕にぶら下るやうな格好で

『あの人、今でも水に入らないといつてまして？』

『そんなことをいつてゐたよ』

『まあ、隨り種ね。それぢや、風呂なんかはどうなさるのでせう』

『矢張、入らぬらしいぜ』

『へえ』

雁子は奇聲をあげた。

『一生風呂にはひらない男――何か感激の發見だわね。そんな男つて、ゐるもんでせうか』

『今、會つたぢやないか』

『でも、可笑しいわ。そんなことつてあるもんでせうか。今時――しかも、ちやんと學業をうけてゐる人で、一度も風呂にははひらないなんて』

『しかし、眞際しやならるよ。風呂にははひらなくても、浴びることはあるといつてたぞ』

『それでもよ。何か、わけでもあるんでせうかね』

『知らぬ』といつたが、すぐ

『でも、何か、わけがあるにはあるだらうさ。いくら、口を濁らせようとしても、どうしても聽かなかつたがね』

二人は府廳前の前を過ぎて、光化門通の四ツ角を北に方角をとつて僅か七、八分の間に、裏通り伝もう暗くなりかけてゐた。

裏通りから東北にそれた角に、小さな喫茶店がある。そこに通りかゝつたら、ラジオの臨時ニュースがちやうど、太平洋の風雲を決すべき、第何次かの日米會戰の戰果を傳へてゐる最中だつた。

それで、ふとまた思ひ出したらしく

『あの一生水に入らない男が、あれを聞いて、どんな顏をするでせうか。あたし、同情するわ』

と雁子が、云たいつた。

『どんな顏をするつて』

『だつて、それほど水にはひりたがらないからには、きつと、水が怖いからに違ひありませんわ。そんなこと考へながら今の戰局を聽いて思つたんですけど、政府の方もさうらしいし、國民もいざとなれば一戰隊すと氣魂をあげてゐるんでせう』

『それはさうだらう。で？』

『だからよ。若しさういふ朝鮮青年にも海軍志願兵制度が布かれないとも限らないぢやありませんか』

『あり得ることだな』

『當然、さういふ時期が來てよ。さうなれば、朝鮮青年も今までのやうに、海といふものに無關心ではゐられなくなるぢやないの。あたし、あの人が海軍に志願しなければならなくなつた時の顏が見たいわ』

『それで同情する氣になつたのかい』

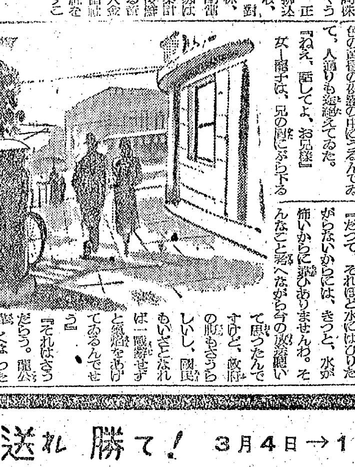
『さうよ』

『物好きな奴だな。道で會つた男に、いやに興味な奴へ方をするぢやないか』

雁子は、心もち顏を赤らめたがまもなく平常を取り戻して

『どつちみち、あたし、あの方にお會ひして見たいわ』

雁子はしみぐといつた。



朝映東寶共作臘の山

四月一日から撮影開始

防諜思想の普及を意圖して朝鮮映畫制作の東寶と提携、劇映畫『國境の山』を製作するがこの撮影準備のため東寶製作本部は滋賀氏をはじめ佐伯宏監督以下の作成班一行をつれて現地本北に向つたが、四日來城、關係方面と打合せを行つて一先づ歸東する、三月末には出演、製作者一行を迎へ四月一日から本格的撮影に着手することになつた

あの旗を撃て 總督府推薦

時局の東寶映畫『あの旗を撃て』は陸軍報道部指導で九日から全半一齊にこのほど總督府推薦に決定、その推薦理由の要旨は次の通り

米國の桎梏から救はれた比島を比島人の比島に建設すべくわが

比島作戰の戰況を描寫せた日比共同國民映畫で現下緊要なる作品として適應に値する

京日歌壇 沼田敬郎選

仁川　近藤　敏坊
たかぶりて奇聲張し隊旗たちまち深きに沈み水漬きし誰をか寝じろ言霊を聞く我やしも

京城　杉町　勇子
うら若い其の前には胸さ姉上のお海に起ゆると憩を見ぬなりし

木浦　隣原　紘
勝ち抜かむ決意のなかの一人とぞ若ら身をふるひ涙しきものを

順天　泉　鶴天
多きふけて日勅とぞかぬ國民に託ふ我が身をかもかつさて

京城　朝長　光秀
海の涯の孤島を守りて玉砕すと凌ぎなむさりし心おもはむ

睿川　村上　ユキ
姉上のいます日わけは拗くて倖らし、敵の心とかざりき

撃ちてし止まむ！造れ！送れ！勝て！
不用品交換所開設
不用品はお互に交換しあつて有無相通じ戰力增强に直接協力致しませう。不用品御提出の方は優先的に交換品賣場の品を御買上願へる事になりますから精々多くの御不用品を御提出願ひます
三階典服部
向子設 庭種新 家菜場 御野賣（1階）
3月4日より 大陸軍紙芝居實演（4階）
丁子屋

造れ 送れ 勝て！ 3月4日→12日
大陸軍展
祝陸軍記念日・徵兵制實施
主催 京城日報社
後援 朝鮮總督府 朝鮮軍報道部
和信（大東亞館） 丁子屋（米英擊滅館） 三越（皇國兵館） 三中井（皇軍生活館）

滿鮮 (マ) 現株
內海清藏商店
京城明治町
朝鮮証券取引所 一般取引員
(マ) 孤淵研一商店
電②二〇七五
期長 物賓
普通病室 隔離病室 內科一般 X光線科
佐藤內科
院長 醫學博士 佐藤小五郎
京城永樂町 電本（二）一八四四（病院）五六八四（住宅）

四日ヨリ 五日間 連續三回
城寶樂劇隊
第十三回 三月大公演
浪曲物語 清水港 五景 岡崎鍊兵 作並演出
增定版 森の石松
喜劇 親子船 七景 長谷川伸 作
音樂作文 十一景 白川友彦 作演出
陸軍、海軍二萬 敵は幾萬
京城寶塚劇場